

(様式第 10)

長大総番 304 号  
平成 28 年 10 月 5 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人 長崎大学長  
片 峰 茂 (印)

長崎大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 27 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒852-8521 長崎市文教町1-14
氏 名	国立大学法人 長崎大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

国立大学法人 長崎大学病院
---------------

3 所在の場所

〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号	電話 (095) 819-7200
---------------------------------	-------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="checkbox"/> 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜
<input type="checkbox"/> 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
1 消化器内科 2 呼吸器内科 3 循環器内科 4 血液内科 5 内分泌・代謝内科 6 腎臓内科 7 神経内科 8 感染症内科 9 リウマチ科 10 脳神経内科 11 12 13 14	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 1 心臓血管外科 2 形成外科 3 消化器外科 4 呼吸器外科 5 小児外科 6 乳腺・内分泌外科 7 移植外科 7 泌尿器科・腎移植外科 8 胃・食道外科 9 大腸・肛門外科 10 肝胆膵外科・肝移植外科 11 12 13 14	
診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	6泌尿器科	⑦産婦人科
8産科	9婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	⑫放射線科	13放射線診断科	
14放射線治療科	⑮麻酔科	⑯救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1 小児歯科 2 矯正歯科 3 歯科口腔外科 4 5 6 7	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 病理診断科	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
42床	2床	6床	0床	812床	862床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成28年10月1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	316人	285人	584.3人	看護補助者	78人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	99人	44人	142.1人	理学療法士	19人	臨床検査技師	73人
薬 剤 師	61人	1人	61.7人	作業療法士	5人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	8人	その他	1人
助 産 師	28人	0人	28人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	867人	12人	875.7人	臨床工学士	20人	医療社会事業従事者	9人
准看護師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	11人
歯科衛生士	16人	0人	16人	歯 科 技 工 士	5人	事務職員	243人
管理栄養士	15人	0人	15人	診療放射線技師	44人	その他の職員	75人

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成28年10月1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	45人	眼科専門医	15人
外科専門医	62人	耳鼻咽喉科専門医	12人
精神科専門医	7人	放射線科専門医	11人
小児科専門医	27人	脳神経外科専門医	12人
皮膚科専門医	11人	整形外科専門医	24人
泌尿器科専門医	11人	麻酔科専門医	27人
産婦人科専門医	21人	救急科専門医	8人
		合 計	293人

(注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 増崎 英明 ) 任命年月日 平成26年10月1日

・医療事故防止委員会 (医療安全に関する委員会) 委員長 (平成26年10月1日～現在)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	740人	22人	762人
1日当たり平均外来患者数	1,269人	419人	1,688人
1日当たり平均調剤数			2,824剤
必要医師数			156人
必要歯科医師数			24人
必要薬剤師数			36人
必要(准)看護師数			438人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	405.55m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	病床数	20床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 498.2m <sup>2</sup> [移動式の場合] 台数 台		病床数	50床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 136.1m <sup>2</sup> [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	173.7 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリートの一部	(主な設備) 生化学自動分析装置3台、自動血液ガス分析装置2台、全自動血糖・Hb-A1分析装置2台、			
細菌検査室	185 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 光学顕微鏡3台、安全キャビネット2台、質量分析装置1台、全自動薬剤感受性分析装置1台、自動血液培養装置1台			
病理検査室	343 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 電子顕微鏡、密閉式自動包埋装置、自動染色装置、自動免疫染色装置、局所廃棄装置付切り出し台、局所廃棄装置付検体保管庫、安全キャビネット等			
病理解剖室	63.3 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 解剖台、高圧滅菌装置、ホルマリン希釈装置、臓器乾燥装置、遺体保存冷蔵庫、教育用カメラマイクシステム等			
研究室	3,249m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 安全キャビネット、電子顕微鏡、自動血液培養装置、質量分析装置等			
講義室	第3講義室 172m <sup>2</sup> 第4講義室 389m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	2室	収容定員 第3講義室：132人 第4講義室：312人	
図書室	142m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	1室	142m <sup>2</sup>	

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成27年4月1日～平成28年3月31日	
紹介率	79.7%	逆紹介率	105.6%
算出根拠	A: 紹介患者の数		15,929人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		24,204人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		2,333人
	D: 初診の患者の数		22,909人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注) 計画書の提出あり

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況 計画書の提出あり

委員名簿の公表の有無	有・無
委員の選定理由の公表の有無	有・無
公表の方法	



(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	21人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	12人
金属代替材料としてグラスファイバーで補強された 高強度のコンポジットレジンを用いた三ユニットブリッジ治療	4人
食道アカシア等に対する経口内視鏡的筋層切開術	20人
有床義歯補綴治療における総合的咬合・咀嚼機能検査	3人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示  
第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法 原発性乳がん(エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。)	3人
ペメトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法 肺がん(扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるも	1人
アルテプラゼ静脈内投与による血栓溶解療法 急性脳梗塞(当該疾病の症状の発症時刻が明らかでない場合に限る。)	0人
インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法 成人T細胞白血病リンパ腫(症候を有するくすぶり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限る。)	0人
FDGを用いたポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影による不明熱の診断 不明熱(画像検査、血液検査及び尿検査により診断が困難なものに限る。)	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 3 その他の高度の医療

医療技術名	肝移植（生体、脳死）	取扱患者数	18人
当該医療技術の概要 当科では、1997年より生体肝移植を開始、これまでに246件の肝移植を実施している。 生体肝移植238例、脳死肝移植8例を行い、良好な成績を収めている。九州では、3施設しか行っていない。			
医療技術名	歯科用金属アレルギー成分分析	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 歯科用金属アレルギーまたはその疑い患者において、口腔内の金属を除去すること無く、ごく一部を採取するのみでその成分分析を行う方法。補綴物の除去をしないで検査可能なため、患者に余分な負担をかけること無く実施可能である。。また該当しない金属の不必要な除去を避けることができる。			
医療技術名	咬合不安定感を有する患者に対する顎運動検査	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 咬合（不定愁訴、咬合不安定感など）や咀嚼に関する問題を有する患者において、非接触式顎運動検査装置を用いて患者の顎運動を検査する。顎機能状態を客観的に記録・判断することが可能であり、患者には視覚的に状況を提示できる。実施した症例全てにおいて十分な改善効果を得ることができた。			
医療技術名	脳死両肺移植術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 全国9施設でしか実施できない高度医療である。血液型と肺のサイズの適合した脳死ドナーの両肺を摘出しフラッシング後速やかに長崎大学に搬送する。レシピエントの両肺を摘出するため人工心肺が必要で、摘出されたドナー肺が到着後滞りなく片方ずつ移植手技を完了させる。肺の虚血許容時間は8時間と短く、摘出から搬送、移植手術まで高度な医療技術と知識を必要とする。			
医療技術名	小児ヒルシュスプルング病に対する腹腔鏡下手術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 長域型以上のヒルシュスプルング病に対し、従来の開腹手術に比較して侵襲の低い腹腔鏡手術を選択する			
医療技術名	小児先天性胆道拡張症に対する腹腔鏡下手術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 侵襲性、術後回復、術後合併症の見地から、より低侵襲である腹腔鏡手術を行う			
医療技術名	胆管癌に対する光線力学療法による治療	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 光増感剤であるレザフィリンと半導体レーザーにより腫瘍特異性に活性酸素を発生させ腫瘍壊死を引き起こすことにより胆道癌の病勢をコントロールする			
医療技術名	バルーン肺動脈形成術(BPA)	取扱患者数	37人
当該医療技術の概要 慢性肺血栓塞栓性肺高血圧症患者の血栓閉塞病変などにバルーンを用いて肺動脈の再開通を行う			
医療技術名	肺静脈隔離術	取扱患者数	48人
当該医療技術の概要 心房細動治療のためのカテーテルアブレーション手技			
医療技術名	ロータブレード（高速回転冠動脈アテレクトミー）による冠動脈形成術	取扱患者数	18人
当該医療技術の概要 高度石灰化病変をロータブレードで削り、その後、バルーンやステントで冠動脈形成術を施行			

医療技術名	Rituximabによる抗HLA抗体陽性腎移植における脾臓摘出回避	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
Rituximab使用によりドナー特異的HLA抗体陽性腎移植における抗体関連型拒絶反応を予防し、脾臓摘出を回避する治療			
医療技術名	移植後抗体関連型拒絶反応に対するrituximab療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
抗ドナー特異的抗体による腎移植後抗体関連型拒絶反応に対するrituximabの臨床応用			
医療技術名	難治性間質性膀胱炎に対するヘパリン-リドカイン膀胱内注入療法	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
既存の治療法では症状の改善を得られない重度の間質性膀胱炎患者に対して、ヘパリン-リドカイン混合液を膀胱内に注入し、症状の改善を図る治療			
医療技術名	難治性精巣腫瘍に対するイリノテカン+ネダプラチン併用療法(Ir/N療法)	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
一次、二次化学療法に抵抗性の精巣腫瘍患者に対する化学療法			
医療技術名	重症の円形脱毛症に対するステロイド点滴静注パルス療法	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要			
重症の円形脱毛症患者にステロイドの点滴静注パルス療法を行うことで、低い副作用で効果的な治療を行うことが可能である			
医療技術名	小児の円形脱毛症に対するエキシマライト治療	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
治療選択肢が少ない小児の円形脱毛症患者に対して安全に簡便に行うことができるエキシマライトによる光線治療を試みる。			
医療技術名	蜂アレルギーの減感作療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
蜂アレルギー患者において、ホリスター社のハチアレルゲンを用いて、急速減感作および維持療法を行った。ハチ2匹分のアレルゲンを皮下注射しても全身症状は惹起されず、効果が認められる。			
医療技術名	色素性乾皮症の迅速診断	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要			
色素性乾皮症の診断のため、患者由来培養皮膚線維芽細胞に、既知NER遺伝子(XPA~XPG)のcDNAを発現するレンチウイルスを感染させ、不定期DNA合成(UDS)試験及びRNA合成回復(RRS)試験を実施し、相補された遺伝子を疾患責任遺伝子として一義的に決定する			
医療技術名	有棘細胞癌、乳房外パジェット癌に対するセンチネルリンパ節生検	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要			
有棘細胞癌、乳房外パジェット病においてRI法、色素法を併用しセンチネルリンパ節を同定。所属リンパ節転移の評価を行っている。			
医療技術名	乳房外パジェット癌に対するドセタキセル療法	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要			
遠隔転移やリンパ節転移を伴う乳房外パジェット病に対し、monthly docetaxel療法を行っている。使用例において腫瘍の縮小が認められる。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	6	56	ベーチェット病	61
2	筋萎縮性側索硬化症	6	57	特発性拡張型心筋症	56
3	脊髄性筋萎縮症	1	58	肥大型心筋症	27
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	7	60	再生不良性貧血	39
6	パーキンソン病	57	61	自己免疫性溶血性貧血	1
7	大脳皮質基底核変性症	2	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	0
8	ハンテントン病	0	63	特発性血小板減少性紫斑病	64
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	1
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	65	原発性免疫不全症候群	0
11	重症筋無力症	77	66	IgA腎症	20
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	11
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	48	68	黄色靱帯骨化症	5
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	10	69	後縦靱帯骨化症	53
15	封入体筋炎	0	70	広範脊柱管狭窄症	1
16	クロー・深淵症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	80
17	多系統萎縮症	7	72	下垂体性ADH分泌異常症	16
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	26	73	下垂体性TSH分泌亢進症	3
19	ライノゾーム病	4	74	下垂体性PRL分泌亢進症	14
20	副腎白質ジストロフィー	1	75	クッシング病	7
21	ミトコンドリア病	8	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	72	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	15
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	39
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	0	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0
27	特発性基底核石灰化症	7	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	1	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	86
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	24
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	12
32	自己食食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	16
34	神経線維腫症	26	89	リンパ脈管筋腫症	9
35	天疱瘡	20	90	網膜色素変性症	13
36	表皮水疱症	5	91	バッド・キアリ症候群	3
37	膿疱性乾癬(汎発型)	8	92	特発性門脈圧亢進症	0
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	93	原発性胆汁性肝硬変	65
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	3
40	高安静脈炎	40	95	自己免疫性肝炎	4
41	巨細胞性動脈炎	0	96	クローン病	120
42	結節性多発動脈炎	17	97	潰瘍性大腸炎	185
43	顕微鏡的多発血管炎	34	98	好酸球性消化管疾患	1
44	多発血管炎性肉芽腫症	17	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	2	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	30	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャー病	10	102	ルビンシュタイン・ティビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	0	103	GFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	258	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	81	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	148	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合型結合組織病	63	107	全身型若年性特発性関節炎	0
53	シェーグレン症候群	22	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	5	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	1	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
111 先天性ミオパチー	0	161 家族性良性慢性天疱瘡	0
112 マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162 類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	0
113 筋ジストロフィー	0	163 特発性後天性全身性無汗症	1
114 非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164 眼皮白皮症	0
115 遺伝性周期性四肢麻痺	0	165 肥厚性皮膚骨膜炎	0
116 アトピー性脊髄炎	0	166 弾性繊維性仮性黄色腫	0
117 脊髄空洞症	1	167 マルフアン症候群	1
118 脊髄髄膜瘤	1	168 エーラス・ダンロス症候群	0
119 アイザックス症候群	0	169 メンケス病	0
120 遺伝性ジストニア	0	170 オクシピタル・ホーン症候群	0
121 神経フェリチン症	0	171 ウィルソン病	0
122 脳表へモジリン沈着症	0	172 低ホスファターゼ症	0
123 禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173 VATER症候群	0
124 皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174 那須・ハコラ病	0
125 神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175 ウィーバー症候群	0
126 ベリー症候群	0	176 コフィン・ローリー症候群	0
127 前頭側頭葉変性症	0	177 有馬症候群	0
128 ピッカーstaff脳幹脳炎	0	178 モワット・ウィルソン症候群	0
129 痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179 ウィリアムズ症候群	0
130 先天性無痛無汗症	0	180 ATR-X症候群	0
131 アレキサンダー病	0	181 クルーゾン症候群	0
132 先天性核上性球麻痺	0	182 アペール症候群	0
133 メビウス症候群	0	183 ファイファー症候群	0
134 中隔視神経形成異常症/トモルシア症候群	0	184 アントレー・ピクスラー症候群	0
135 アイカルディ症候群	0	185 コフィン・シリス症候群	0
136 片側巨脳症	0	186 ロスムンド・トムソン症候群	0
137 限局性皮質異形成	0	187 歌舞伎症候群	0
138 神経細胞移動異常症	0	188 多脾症候群	0
139 先天性大脳白質形成不全症	0	189 無脾症候群	0
140 ドラベ症候群	0	190 鰓耳腎症候群	0
141 海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191 ウェルナー症候群	0
142 ミオクロニー欠伸てんかん	0	192 コケイン症候群	0
143 ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193 ブラダー・ウィリ症候群	0
144 レノックス・ガストー症候群	0	194 ソトス症候群	0
145 ウエスト症候群	0	195 ヌーナン症候群	0
146 大田原症候群	0	196 ヤング・シンブソン症候群	0
147 早期ミオクロニー脳症	0	197 1p36欠失症候群	0
148 遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198 4p欠失症候群	0
149 片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199 5p欠失症候群	0
150 環状20番染色体症候群	0	200 第14番染色体父親性ダイノミー症候群	0
151 ラスムッセン脳炎	0	201 アンジェルマン症候群	0
152 PCDH19関連症候群	0	202 スミス・マガニス症候群	0
153 難治類回部分発作重積型急性脳炎	0	203 22q11.2欠失症候群	0
154 徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204 エマヌエル症候群	0
155 ランドウ・クレフナー症候群	0	205 脆弱X症候群関連疾患	0
156 レット症候群	0	206 脆弱X症候群	0
157 スタージ・ウェーバー症候群	0	207 総動脈幹遺残症	0
158 結節性硬化症	0	208 修正大血管転位症	0
159 色素性乾皮症	0	209 完全大血管転位症	0
160 先天性魚鱗癬	0	210 単心室症	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

疾患名		患者数		疾患名		患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症		0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症		0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病		0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症		0
215	ファロー四徴症	0	263	脳腫黄色腫症		0
216	両大血管右牽起始症	0	264	無βリポタンパク血症		0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症		0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱		0
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群		0
220	急速進行性糸球体腎炎	0	268	中俣・西村症候群		0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壞疽性膿皮症・アクネ症候群		0
222	一次性ネフローゼ症候群	8	270	慢性再発性多発性骨髄炎		0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎		10
224	紫斑病性腎炎	1	272	進行性骨化性線維異形成症		0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症		0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	5	274	骨形成不全症		0
227	オスラー病	1	275	タナトフォリック骨異形成症		0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症		0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1	277	リンパ管腫症/ゴーハム病		0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)		0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)		0
232	カーニー複合	0	280	巨大動脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)		0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群		3
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血		0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球病		1
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血		0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血		0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血		0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群		0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII		0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群		0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症		0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)		0
244	メープルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症		0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残		0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア		0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫		0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症		1
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群		0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膝炎		0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症		0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患		1
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー		0
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症		0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュャー症候群		0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴		0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫		0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎		0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・がん診療連携拠点病院加算
・歯科外来診療環境体制加算	・栄養サポートチーム加算
・歯科診療特別対応連携加算	・医療安全対策加算1
・特定機能病院入院基本料(一般病棟 7対1)	・感染防止対策加算1
・特定機能病院入院基本料(結核病棟 7対1)	・ハイリスク妊娠管理加算
・特定機能病院入院基本料(精神病棟 13対1)	・ハイリスク分娩管理加算
・臨床研修病院入院診療加算	・退院支援加算1
・救急医療管理加算	・精神疾患診療体制加算
・超急性期脳卒中加算	・救急搬送患者地域連携紹介加算
・妊産婦緊急搬送入院加算	・呼吸ケアチーム加算
・診療録管理体制加算1	・病棟薬剤業務実施加算1
・医師事務作業補助体制加算1(100対1)	・病棟薬剤業務実施加算2
・急性期看護補助体制加算(一般病棟 25対1 看護補助者5割未満)	・データ提出加算2
・看護職員夜間12対1配置加算2	・地域歯科診療支援病院入院加算
・看護補助加算2(精神病棟 50対1)	・救命救急入院料1
・療養環境加算	・特定集中治療室管理料2
・重症者等療養環境特別加算	・脳卒中ケアユニット入院医療管理料
・無菌治療室管理加算1	・新生児特定集中治療室管理料1
・無菌治療室管理加算2	・新生児治療回復室入院医療管理料
・緩和ケア診療加算	・小児入院医療管理料2
・精神病棟入院時医学管理加算	・小児入院医療管理料の注4に規程する加算
・精神科身体合併症管理加算	・
・感染防止対策地域連携加算	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・精神科リエゾンチーム加算	・

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・検体検査管理加算(IV)
・心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行加算)	・遺伝カウンセリング加算
・喘息治療管理料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・糖尿病合併症管理料	・植込型心電図検査
・がん性疼痛緩和指導管理料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・がん患者指導管理料1	・胎児心エコー法
・がん患者指導管理料2	・ヘッドアップティルト試験
・外来緩和ケア管理料	・皮下連続式グルコース測定
・移植後患者指導管理料(臓器移植後の場合)	・長期継続頭蓋内脳液検査
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後の場合)	・神経学的検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・補聴器適合検査
・院内トリアージ実施料	・ロービジョン検査判断料
・外来放射線照射診療料	・小児食物アレルギー負荷検査
・ニコチン依存症管理料	・内服・点滴誘発試験
・がん治療連携計画策定料	・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)
・がん治療連携管理料	・有床義歯咀嚼機能検査
・認知症専門診断管理料	・画像診断管理加算2
・肝炎インターフェロン治療計画料	・歯科画像診断管理加算1
・薬剤管理指導料	・歯科画像診断管理加算2
・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	・ポジトロン断層撮影又はポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・医療機器安全管理料1	・CT撮影及びMRI撮影
・医療機器安全管理料2	・冠動脈CT撮影加算
・在宅療養後方支援病院	・外傷全身CT加算
・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	・大腸CT撮影加算
・歯科治療総合医療管理料(I)及び(II)	・心臓MRI撮影加算
・持続血糖測定器加算	・乳房MRI撮影加算
・歯科訪問診療料の注13に規程する基準	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・造血器腫瘍遺伝子検査	・外来化学療法加算1
・HPV核酸検出	・無菌製剤処理料
・HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・心大血管疾患リハビリテーション料(I)

施設基準の種類	施設基準の種類
・(心大血管疾患リハビリテーション初期加算)	・植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・運動器リハビリテーション料(I)	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・呼吸器リハビリテーション料(I)	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)
・(呼吸器リハビリテーション初期加算)	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及び2
・がん患者リハビリテーション料	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・歯科口腔リハビリテーション料2	・同種死体肺移植術
・通院・在宅精神療法の児童思春期精神科専門管理加算	・生体部分肺移植術
・精神科作業療法	・内視鏡下筋層切開術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・経皮的冠動脈形成術
・医療保護入院等診療料	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・処置の休日加算1、時間外加算及び深夜加算1	・経皮的冠動脈ステント留置術
・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	・経カテーテル大動脈弁置換術
・エタノールの局所注入(副甲状腺に対するもの)	・経皮的中隔心筋焼灼術
・透析液水質確保加算2	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・一酸化窒素吸入療法	・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
・手術用顕微鏡加算	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・う蝕歯無痛的窩洞形成加算	・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術
・CAD/CAM冠	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・歯科技工加算1及び2	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る)	・補助人工心臓
・組織拡張器による再建手術(一連につき)〔乳房(再建手術)の場合に限る〕	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・経皮的大動脈遮断術
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・ダメージコントロール手術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。.)及び脳刺激装置交換術	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・羊膜移植術	・体外衝撃波胆石破碎術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・腹腔鏡下肝切除術
・網膜附着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・生体部分肝移植術
・網膜再建術	・同種死体肝移植術
・人工内耳植込術	・体外衝撃波膀胱石破碎術



施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下痔体尾部腫瘍切除術	・外来放射線治療加算
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・高エネルギー放射線治療
・腹腔鏡下小切開副腎摘出術	・1回線量増加加算
・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術	・強度変調放射線治療(IMRT)
・腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術	・画像誘導放射線治療加算(IGRT)
・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	・体外照射呼吸性移動対策加算
・同種死体腎移植術	・定位放射線治療
・生体腎移植術	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・膀胱水圧拡張術	・画像誘導密封小線源治療加算
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・保険医療機関間の連携による病理診断
・人工尿道括約筋植込・置換術	・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・病理診断管理加算2
・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	・口腔病理診断管理加算2
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・歯科矯正診断料
・手術の休日加算1、時間外加算1及び深夜加算1	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術	
・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	
・輸血管理料 I	
・貯血式自己血輸血管理体制加算	
・自己生体組織接着剤作成術	
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	
・歯周組織再生誘導手術	
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	
・歯根端切除手術の注3	
・麻酔管理料(I)	
・麻酔管理料(II)	
・放射線治療専任加算	



(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
1 「ネット」の制御による重症患者に対する新しい治療戦略の提案	田崎 修	救命救急センター	4,300,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
2 AMPK活性化とGSK3阻害によるワールブルグ効果抑制を介した肝癌制御の基礎検討	中尾 一彦	消化器内科	1,500,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
3 ARMSと発達障害特性を中間表現型とした統合失調症大家族の遺伝子解析	今村 明	精神科神経科	1,200,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
4 bFGF徐放能と自浄機能を有するマルチファンクション型軟質リライン材の開発	村田 比呂司	歯科補綴学第二	2,800,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
5 Cetuximab耐性口腔癌に対する分子標的治療の基礎的研究	鳴瀬 智史	口腔外科学第一	1,700,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
6 CTLA-4-Igの新たな作用を解析し次世代の治療標的の探索に繋げる基盤研究	川上 純	第一内科	1,500,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
7 Direct Conversion誘導基質による臍帯由来細胞からの骨再生法の開発	住田 吉慶	口腔外科学第二	4,800,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
8 Dual-energy CT画像を用いた肺高血圧患者の肺血流量量化法の確立	末吉 英純	放射線科	2,300,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
9 EGFRカスケードと5-FU代謝酵素のクロストーク解明による肺癌治療の個別化戦略	永安 武	第一外科	1,000,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
10 FGF23-klotho axisをメディエーターとした骨細胞の機能解析	佐々木 宗輝	歯科補綴学第一	1,500,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
11 GLP-1の心筋虚血再灌流障害に対する役割と分子機序の解明	柴田 伊津子	麻酔科	1,200,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
12 High-Resolution Manometryによる高齢者嚥下咽頭圧の評価	原 稔	耳鼻咽喉科	500,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
13 HTLV-1キャリアクローン解析に基づく新規バイオマーカーの探索	長谷川 寛雄	臨床検査医学	1,600,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
14 HTLV-1関連シェーグレン症候群の発症機序の解明	中村 英樹	第一内科	1,200,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
15 IL-1を分子標的とする低分子化合物を用いた炎症性疾患の治療法の開発	川上 純	第一内科	50,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
16 iPS細胞の供給源としての乳歯歯髄細胞の有用性について	釜崎 陽子	小児歯科学	800,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
17 microRNAによる滑膜細胞の制圧-骨分化誘導および薬剤応答の改善の検討	岩本 直樹	第一内科	1,200,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
18 microRNAを用いたオーダーメイド顔面骨形成法の開発的研究	矢野 浩規	形成外科	1,200,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
19 MRIで関節リウマチの軟骨傷害を評価し軟骨再生医療につなげる基盤研究	玉井 慎美	第一内科	1,500,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
20 OFCD症候群における乳歯歯根吸収不全と長根形成に対する生化学的研究	西口 美由季	小児歯科学	1,600,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
21 p53とFEN1が創り出す細胞の運命	片山 郁夫	歯科放射線学	900,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
22 PET/SPECT/CTイメージングによる肺アスペルギルス症診断法の開発	田代 将人	感染制御教育センター	1,400,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
23 PGE2受容体阻害と緑茶ポリフェノールのHuR抑制を利用した前立腺癌の化学予防	酒井 英樹	泌尿器科	1,100,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金

小計23

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
24	PM2.5による喘息様気道炎症におけるPM2.5付着蛋白質の関与	尾長谷 靖	第二内科	100,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
25	PTH製剤の間歇的局所輸送による革新的なグラフト骨増生法の開発	澤瀬 隆	歯科補綴学第一	1,400,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
26	Runx2による骨芽細胞突起形成阻害の分子メカニズムとその生理的意義の解明	河井 洋祐	口腔外科学第二	1,400,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
27	TTウイルス～常在ウイルス叢としての宿主防御における役割は？	森内 昌子	小児科	1,100,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
28	T細胞を基盤とした歯槽骨吸収およびポケット形成の発症メカニズム解明	高森 明子(蔵本明子)	歯科保存学第二	1,600,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
29	VR Systemと3D-Printing技術を応用した新規外科教育の開発	日高 重和	第一外科	800,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
30	$\alpha$ -Klothoの冠動脈プラーク組織性状評価における役割と臨床的意義の解明	古賀 聖士	循環器内科	1,000,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
31	アセチルコリン受容体主要免疫原性領域を標的とした免疫グロブリン療法:動物実験	中田 るか	第一内科	100,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
32	アセチルコリン受容体主要免疫原性領域を標的とした免疫グロブリン療法:動物実験	白石 裕一	第一内科	100,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
33	インプラントの咬合力調節機構は天然歯とどのように違うのか?	田中 美保子	歯科補綴学第二	500,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
34	エストロゲン受容体シグナルを応用したぶどう膜炎治療法開発	藤川 亜月茶	眼科	800,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
35	カンジダ抑制作用を有するTea tree oilの義歯用歯磨剤への応用と開発	山下 利佳	義歯補綴治療室	700,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
36	クリプトコックスに対する免疫応答の解明と、菌の臓器指向性と免疫応答の関係の解明	河野 茂	第二内科	2,200,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
37	ケロイド発生病態にHDAC阻害剤が及ぼす影響の検討	鉄塚 大	皮膚科	1,800,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
38	シェーグレン症候群ACR診断基準修正案の策定	高木 幸則	歯科放射線学	1,100,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
39	シェーグレン症候群発症におけるtau蛋白の役割について	中村 卓	歯科放射線学	1,200,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
40	ジルコニア焼結前のアルミナプラスチックは装着材の接着性と低温劣化を改善する	吉田 圭一	冠補綴治療室	2,600,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
41	シンクロトンCTおよび有限要素解析を用いた骨梁微細骨折の発生メカニズムの研究	千葉 恒	整形外科	1,400,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
42	ストレス応答タンパクの多様性について- $\alpha$ -NACとMUC1の核内での働き-	佛坂 由可	歯科放射線学	1,200,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
43	ストレス応答マイクロRNAが制御するMUC1の役割について	田代 茂樹	臨床研究センター	1,200,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
44	バイオアクティブ材料を用いた象牙質接着を革新する新規プライマーの開発	添野 光洋	歯科補綴学第一	700,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
45	バイオフィルム形成に影響する人工生体材料因子と環境因子	依田 周	整形外科	900,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
46	ハイブリッド人工胆管構築技術を基盤とした術後胆管狭窄予防	曾山 明彦	第二外科	1,100,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金

小計23

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
47 バランス麻酔の虚血心筋保護戦略—心肺蘇生モデルによる検討—	吉富 修	麻酔科	1,100,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
48 パルミトレイン酸によるクローン病の炎症制御	竹島 史直	消化器内科	1,400,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
49 ヒトIPS細胞を用いた低酸素培養による基礎的研究	杉本 浩司	歯科保存学第一	1,600,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
50 フッ素系モノマーを応用した生体親和性と耐久性の高い硬質リライン材の開発	高瀬 一馬	歯科補綴学第二	1,400,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
51 フラボノイド類の抗酸化活性による歯根吸収抑制効果の検討	森田 幸子	矯正歯科	1,500,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
52 プリオン高感度検出法を用いたヤコブ病タイプ鑑別診断法の開発とその分子機構の解明	森 剛志	感染分子	1,400,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
53 プレホスピタルでの心肺蘇生時における脳循環の解明	田崎 修	救命救急センター	500,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
54 プロテインビーズを含有した治療促進効果を持つティッシュコンディショナーの開発	黒木 唯文	歯科補綴学第二	700,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
55 ポツリヌス毒素誘発性の機能低下モデルを用いた形態成長と機能発達に関する統合的研究	内海 大	矯正歯科	1,200,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
56 マイクロバイオーム解析に基づく高齢者肺炎の病態解明と革新的予防法への展開	柳原 克紀	臨床検査医学	1,200,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
57 マウス腹膜線維症モデルにおける、合成レチノイドAm80の線維化抑制効果	牟田 久美子	地域包括ケア教育センター	1,400,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
58 メタゲノム解析を応用したインプラント周囲炎の病態解明	綿本 隆生	歯科補綴学第一	1,000,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
59 われわれは転移リンパ節のSU V上昇に何をみているのか?	佐々木 美穂	歯科放射線学	1,000,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
60 異種-脱細胞化組織骨格の再細胞化による、再生気管、再生肺の移植研究	土谷 智史	第一外科	6,600,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
61 遺伝子導入と組織工学による局所環境制御を旨とした次世代細胞治療法の開発	小林 慎一郎	第二外科	1,200,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
62 遺伝子導入による老化肝若返りによる移植肝の肝再生促進、肝虚血再灌流障害克服	日高 匡章	第二外科	1,100,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
63 医工連携による視線追尾システム開発で無影灯調整を自動化する	野上 朋幸	特殊歯科総合治療部	700,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
64 医師の燃え尽き症候群克服のためのワークライフバランスからのアクションリサーチ	伊東 昌子	メディカルワークライフバランスセンター	1,300,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
65 一人手術を旨とした装着型筋活動センサによる内視鏡下手術支援器具の開発	黒木 保	第二外科	1,200,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
66 雲仙普賢岳災害被災者におけるトラウマティックストレスの長期経過研究	木下 裕久	精神科神経科	500,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
67 何が咬みしめ習癖における疼痛過敏化のトリガーになっているのか?	鳥巢 哲朗	歯科補綴学第二	900,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
68 荷重下インプラント周囲骨の適応変化をもたらすインプラントデザイン最適化	安武 宗徳	歯科補綴学第一	2,200,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
69 荷重環境下インプラント周囲の骨細胞による骨質制御機構を解明する	澤瀬 隆	歯科補綴学第一	3,900,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金

小計23

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
70	過敏性肺炎における免疫複合体解析	原 敦子	集中治療部	1,400,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
71	拡張型心筋症の診断における心内膜心筋生検の有用性の検討	河野 浩章	循環器内科	500,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
72	患者の視点に立った2次活用システムADWHの構築とナショナルDBへの展開研究	本多 正幸	医療情報部	1,200,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
73	感染性心内膜炎起因菌の組織定着と病態形成の解明	近藤 好夫	小児歯科学	1,700,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
74	肝線維化に伴うmicroRNA発現変化を介した肝癌幹細胞維持メカニズムの解明	三馬 聡	消化器内科	1,100,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
75	間質性肺疾患に対する革新的分子標的治療法の確立	角川 智之	第二内科	1,200,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
76	間接リウマチの「免疫学的寛解」を目指したCaMK4を標的とした治療の開発	古賀 智裕	医療教育開発センター	1,200,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
77	関節リウマチにおける3テスラ高解像度MRIによる手関節の骨・軟骨病変解析の研究	上谷 雅孝	放射線科	400,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
78	眼内増殖性疾患における分子メカニズムの解明およびコハク酸の役割	北岡 隆	眼科	1,300,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
79	機能化したバイオナノファイバー強化による歯科補綴材料の開発	田上 直美	冠補綴治療室	200,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
80	機能性microRNAデリバリーシステムによる非培養脂肪組織幹細胞からの骨再生	田島 暢崇	口腔外科学第二	1,400,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
81	気管の縫合不全や気管支断端瘻に対する再生医学を応用した新しい予防・治療法の開発	田浦 康明	第一外科	1,800,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
82	矯正治療期間短縮のための骨リモデリングを含めた長期的な歯の移動予測システムの構築	富永 淳也	矯正歯科	2,000,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
83	銀ナノ微粒子を用いた抗菌効果を有する軟質リライン材の新規開発	江越 貴文	歯科補綴学第二	1,200,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
84	血管内皮前駆細胞を主体とした末梢血濃縮細胞群による萎縮唾液腺再生療法の開発	井 隆司	口腔外科学第二	1,000,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
85	血管内皮前駆細胞を用いた吸収性遮蔽膜による新規歯周組織再生療法の開発	川崎 貴子	特殊歯科総合治療部	1,200,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
86	個人識別に最適化する歯式メタデータと歯式データベースに関する基礎的研究	丸山 陽市	矯正歯科	900,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
87	顧みられない熱帯病に対する予防および治療を目的とした革新的技術の開発	佐々木 均	薬剤部	4,200,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
88	五島市における口腔と全身健康状態の相互関連性に関する追跡調査	齋藤 俊行	予防歯科学	4,100,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
89	光合成モデルのバイオインスパイアード材料を接着強化に用いる破折歯根の保存再生	平 曜輔	歯科補綴学第一	3,200,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
90	口腔外科手術を想定した各種操作が声門上器具に与える影響	讃岐 拓郎	歯科麻酔学	700,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
91	口腔癌の免疫逃避機構の解明と新たな治療戦略～抗PD-1抗体を用いた新規免疫療法～	高橋 英哲	口腔外科学第一	1,500,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
92	口腔癌遠隔転移に関与する播種性腫瘍細胞を制御するmicroRNAに関する研究	柳本 惣市	口腔外科学第一	1,300,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金

小計23

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
93	拘束ストレスと情動系侵害受容に関与する帯状回ニューロン応答の性差	山下 裕美	口腔外科学第二	1,100,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
94	甲状腺再生医療による甲状腺機能低下症に対する新たな治療戦略	南 恵樹	第二外科	1,300,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
95	甲状腺濾胞性腫瘍の術前細胞診診断における53BP1核内フォーカスの有用性の検討	矢野 洋	第一外科	500,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
96	高b値拡散強調MRIを用いた細胞評価に基づく頭頸部腫瘍診断法の確立	角 美佐	歯科放射線学	1,300,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
97	高い耐久性を有する硬質リイン材の開発	吉田 和弘	歯科補綴学第二	700,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
98	高機能改良型Gene Activated Matrixによる骨再生能の評価	三浦 桂一郎	口腔外科学第二	1,900,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
99	高血糖における心保護戦略の開発:PDE3阻害薬の効果	原 哲也	麻酔科	1,000,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
100	高血糖による血液脳関門障害におけるペリサイトの役割	林 健太郎	脳神経外科	1,100,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
101	高濃度酸素吸入が幹細胞の動員と臓器虚血再灌流障害に与える影響	稲富 千亜紀	麻酔科	1,200,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
102	高品質な地域完結型医療に向けたICTネットワーク型地域連携パスの開発と評価	松本 武浩	医療情報部	1,400,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
103	高齢者が安全に実施できる新しい咽頭期嚥下リハビリ手技の評価	小山 善哉	予防歯科学	2,100,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
104	骨ーリンパ系免疫システムを賦活化する脂肪由来幹細胞を用いたARONJ治療法の開発	黒嶋 伸一郎	歯科補綴学第一	1,300,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
105	骨再生過程におけるCCNファミリー分子の役割の解析と骨再生療法への応用	松下 祐樹	口腔外科学第一	900,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
106	骨粗鬆症治療新薬の矯正治療への影響:骨粗鬆症ラットを用いた歯槽骨と歯根吸収の評価	橋本 恵	矯正歯科	1,200,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
107	根面う蝕の予防および初期活動性根面う蝕の再石灰化に関するランダム化比較試験	久保 至誠	医療教育開発センター	1,200,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
108	細胞イメージングによる歯周病と認知症の関連におけるオートファジー機構解明	齋藤 俊行	予防歯科学	1,600,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
109	細胞移植による唾液腺再生メカニズムの解明と臓器再生を目指した器官培養法の開発	住田 吉慶	口腔外科学第二	400,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
110	細胞外マトリックスに着目した創傷治癒研究	宇谷 厚志	皮膚科	700,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
111	子どものこころと身体を見守り支援する大規模データ収集とリスク予測モデル構築	藤原 卓	小児歯科学	1,000,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
112	子宮内膜の機能調節における抗ミューラー管ホルモン(AMH)の役割に関する研究	谷口 憲	産科婦人科	700,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
113	子宮内膜症の骨盤内慢性炎症が卵巣予備能を低下させる分子病理学的機序に関する研究	北島 道夫	産科婦人科	1,500,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
114	脂肪組織由来多能性幹細胞移植による肝代謝性疾患治療の試み	山之内 孝彰	第二外科	1,200,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金
115	歯質表面損失症候群の診断法の確立と接着技法を応用した治療法の開発	久保 至誠	医療教育開発センター	600,000	補 日本学術振興会 科学研究費補助金

小計23

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

## (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Nakamura K	Unit of Translational Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Paroxysmal thyroid swelling.	Diagnostic Dilemma, second edition, 27-29, 2015.
2	Muraoka I	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Transplanted fibroblast cell sheets promote migration of hepatic progenitor cells in the incised host liver in allogeneic rat model.	J Tissue Eng Regen 9(11): E108-115, 2015
3	Miyazaki T	Division of Surgical Oncology, Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Partial lung resection of supernumerary tracheal bronchus combined with pulmonary artery sling in an adult: report of a case.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. Mar;63(3):173-6,2015
4	Doi H	Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Unconscious presentation of fearful face modulates electrophysiological responses to emotional prosody.	Cereb Cortex 25: 817-832, 2015
5	Kawashiri SY	Department of Immunology and Rheumatology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Confirmation of effectiveness of tocilizumab by ultrasonography and magnetic resonance imaging in biologic agent-naïve early-stage rheumatoid arthritis patients.	Modern Rheumatology 25:948-953, 2015
6	Sakai K	Department of Cardiovascular Surgery, Nagasaki University Hospital	A cardiac hemangioma treated by a right minithoracotomy approach with thoracoscopic assistance.	Gen Thorac Cardiovasc Surg 64: 34-37, 2016
7	Tanaka A	Department of Molecular Microbiology and Immunology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	The effect of intravenous peramivir, compared with oral oseltamivir, on the outcome of post-influenza pneumococcal pneumonia in mice.	Antivir Ther. 20(1):11-9, 2015
8	Io K	Second Department of Internal Medicine, Nagasaki University School of Medicine	SAHA Suppresses Peritoneal Fibrosis in Mice.	Perit Dial Int 35(3): 246-258, 2015
9	Kamo Y	Department of Gastroenterology and Hepatology, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Significance of miRNA-122 in chronic hepatitis C patients with serotype 1 on interferon therapy.	Hepatol Res 45(1): 88-96, 2015
10	Horai Y	Unit of Translational Medicine, Department of Immunology and Rheumatology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Serum interferon-alpha is a useful biomarker in patients with anti-melanoma differentiation-associated gene 5 (mda5) antibody-positive dermatomyositis.	Modern rheumatology 2015;25:85-89
11	Hisatomi K	Department of Cardiovascular Surgery, Nagasaki University Hospital	Asymptomatic and isolated accessory mitral valve tissue in an adult.	Gen Thorac Cardiovasc 64: 105-108, 2016
12	Sakamoto A	Department of Molecular Microbiology and Immunology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Retrospective diagnosis of congenital cytomegalovirus infection in children with autism spectrum disorder but no other major neurologic deficit.	Brain and Development37(2):200-205,2015
13	Maemura K	Department of Cardiovascular Medicine, Graduate School of Biomedical Science, Nagasaki University	Effects of moderate-to-severe obstructive sleep apnea on the clinical manifestations of plaque vulnerability and the progression of coronary atherosclerosis in patients with acute coronary	Eur Heart J Acute Cardiovasc Care, 4(1): 75-84, 2015
14	Yamanouchi K	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Predictive factors for intraoperative excessive bleeding in Graves' disease.	Asian J Surg 38(1):1-5, 2015 (IF: 0.906) *
15	Izumo T	Department of Neurosurgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences.	Microsurgical Clipping for Recurrent Aneurysms After Initial Endovascular Coil Embolization.	World Neurosurg 83(2): 211-218, 2015
16	Yamamoto-Fukuda	Department of Histology and Cell Biology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical	In vivo over-expression of KGF mimic human middle ear cholesteatoma.	Eur Arch Otorhinolaryngol 272(10): 2689-2696, 2015
17	Kodama Y	Department of Hospital Pharmacy, Nagasaki University Hospital	Secure and effective gene delivery system of plasmid DNA coated by polynucleotide.	J Drug Target 23(1): 43-51, 2015
18	Sueyoshi E	Department of Radiology, Nagasaki University School of Medicine, Nagasaki, Japan	Carbon dioxide digital subtraction angiography as an option for detection of endoleaks in endovascular abdominal aortic aneurysm repair procedure.	J Vasc Surg 61:1298-1303,2015
19	Nakashima S	Second Department of Internal Medicine, Nagasaki University School of Medicine	Exogenous lipid pneumonia successfully treated with bronchoscopic segmental lavage therapy.	Respir Care. 2015 Jan;60(1):e1-5
20	Enokizono M	Department of Radiology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	The rim pattern of meningioma on 3D FLAIR imaging: correlation with tumor-brain adhesion and histological grading.	Magn Reson Med Sci 13(4): 251-260, 2015
21	Takatsuki M	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Prospective study of the safety and efficacy of intermittent inflow occlusion (Pringle maneuver) in living donor left hepatectomy.	Hepatology Research 45(8): 856-862, 2015

小計1



## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

## (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
22	Miura K	Department of Obstetrics and Gynecology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Circulating levels of maternal plasma cell-free miR-21 are associated with maternal body mass index and neonatal birth weight.	Prenatal Diagnosis 235: 509-511, 2015
23	Koseki H	Department of Orthopedic Surgery, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki	Early staphylococcal biofilm formation on solid orthopaedic implant materials: in vitro study.	PLoS One, 9(10):e107588, 2015
24	Baimakhanov Z	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Preoperative simulation with 3D printed solid model for one-step reconstruction of multiple hepatic veins during living donor liver transplantation.	Liver Transpl 21(2): 266-268, 2015
25	Miyata Y	Department of Urology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Pathological significance and prognostic role of microvessel density, evaluated using CD31, CD34, and CD105 in prostate cancer patients after radical prostatectomy with neoadjuvant therapy.	Prostate 75(1):84-91, 2015
26	Tashiro M	Department of Infectious Diseases, Unit of Molecular Microbiology and Immunology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Clinical significance of methicillin-resistant coagulase-negative staphylococci obtained from sterile specimens.	Diagn Microbiol Infect Dis. 81:71-5, 2015
27	Yamanouchi K	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Evaluation of the operative methods for Graves' disease.	Minerva Chir 70(2): 77-81, 2015
28	Miyata Y	Nagasaki University Hospital, Department of Urology	Efficacy and safety of systemic chemotherapy and intra-arterial chemotherapy with/without radiotherapy for bladder preservation or as neo-adjuvant therapy in patients with muscle-invasive	a single-centre study of 163 patients. Eur J Surg Oncol 41(3):361-367, 2015
29	Morinaga Y	Department of Laboratory Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical	Broad-range PCR in the identification of bacterial and fungal pathogens from positive blood culture bottles: a sequencing approach.	Methods Mol Biol 1237:65-72, 2015
30	Dai L	Department of Histology and Cell Biology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical	Aberrant levels of histone H3 acetylation induce spermatid anomaly in mouse testis.	Histochem Cell Biol 143(2): 209-224, 2015
31	Senoo T	Department of Gastroenterology and Hepatology, Nagasaki University	Incidence of and risk factors for bile duct stones after living donor liver transplantation: an analysis of 100 patients.	Hepatol Res 45(9): 969-975, 2015
32	Taguchi M	Department of Hematology, Atomic Bomb Disease and Hibakusha Medicine Unit, Atomic Bomb Disease Institute; Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Molecular analysis of loss of CCR4 expression during mogamulizumab monotherapy in an adult T cell leukemia/lymphoma patient.	Ann Hematol 94(4):693-5, 2015
33	Gauchan P	Department of Hygiene and Molecular Epidemiology, Nagasaki University	Whole genotype constellation of prototype feline rotavirus strains FRV-1 and FRV64 and their phylogenetic relationships with feline-like human rotavirus strains.	J Gen Virol 96(Pt 2): 338-350, 2015
34	Fujishita A	Department of Gynecology, Saiseikai Nagasaki Hospital	Outcome of conservative laparoscopic surgery for adnexal torsion through one-stage or two-stage operation.	J Obstet Gynaecol Res 41(3):411-7, 2015
35	Tomonaga M	Second Department of Internal Medicine, Nagasaki University School of Medicine	Comparison of pulmonary involvement between patients expressing anti-PL-7 and anti-Jo-1 antibodies.	Lung 193: 79-83, 2015
36	Fukuda Y	Department of Neurosurgery, School of Medicine, Nagasaki University	Intra-arterial transplantation of low-dose stem cells provides functional recovery without adverse effects after stroke.	Cell Mol Neurobiol 35(3):399-406, 2015
37	Fukuoka J	Department of Pathology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	West Japan Oncology Group. A multicenter phase II study of carboplatin and paclitaxel for advanced thymic carcinoma.	WJOG4207L. Ann Oncol. 2015 Feb;26(2):363-8
38	Nakagomi O	Division of Molecular Epidemiology, Graduate School of Biomedical Sciences and Global Centre of Excellence, Nagasaki University	Molecular epidemiology of rotavirus in cats in the United Kingdom.	J Clin Microbiol 53(2): 455-464, 2015
39	Takashi Miura	Department of Cardiovascular Surgery, Nagasaki University Hospital	Technical aspects of mitral valve repair in Balow's valve with prolapse of both leaflets:triangular resection for excess tissue,sophisticated chordal replacement,and their combination (the restoration	Gen Thorac Cardiovasc Surg 63:61-70, 2015
40	Tamai M	Department of Immunology and Rheumatology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Response to: 'Does adding the presence of MRI detected bone marrow oedema improve the accuracy of the 2010 EULAR/ACR criteria for rheumatoid arthritis?' by Nieuwenhuis et al.	Ann Rheum Dis, 74(3):e30, 2015
41	Ohyama K	Course of Pharmaceutical Sciences, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki	Proteomic profiling of antigens in circulating immune complexes associated with each of seven autoimmune diseases.	Clin Biochem. 48(3):181-185, 2015
42	Matsuo T	Departments of Neurosurgery and Radiology, Nagasaki University School of Medicine	Long-term follow-up results of linear accelerator-based radiosurgery for vestibular schwannoma using serial three-dimensional spoiled gradient-echo MRI.	J Clin Neurosci 22(2): 320-325, 2015

小計2

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

## (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
43	Kohno S	Department of Respiratory Diseases, Nagasaki University Graduate School of Biomedical	Clinical features of pulmonary cryptococcosis in non-HIV patients in Japan.	J Infect Chemother. Jan;21(1):23-30,2015
44	Abo T	Department of Surgical Oncology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Usefulness of intraoperative diagnosis of hepatic tumors located at the liver surface and hepatic segmental visualization using indocyanine green-photodynamic eye imaging.	Eur J Surg Oncol 41(2): 257-264, 2015
45	Tsushima Y	Clinical Laboratory of Nagasaki University Hospital	Quantitative RT-PCR evaluation of a rapid influenza antigen test for efficient diagnosis of influenza virus infection.	J Virol Methods 212:76-9, 2015
46	Takahashi H	Department of Otolaryngology - Head and Neck Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Clinical Practice Guidelines for the Diagnosis and Management of Acute Otitis Media (AOM) in Children in Japan - 2013 Update.	Auris Nasus Larynx (Tokyo) 42: 99-106, 2015
47	Tsuchiya R	Surgical Section, Tagami Hospital, Nagasaki, Japan; Department of Surgery, Nagasaki University	The pancreas from Aristotle to Galen.	Pancreatology 15(1): 2-7, 2015
48	Doi H	Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Association between catechol-O-methyltransferase Val158Met polymorphism and configural mode of face processing.	Neurosci Lett 586 : 19-23, 2015
49	Khan KN	Department of Obstetrics and Gynecology, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Involvement of hepatocyte growth factor-induced epithelial-mesenchymal transition in human adenomyosis.	Biol Reprod 82(2):35,1-11,2015
50	Charyasriwong S	Laboratory of Molecular Biology of Infectious Agents, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	In vitro evaluation of synergistic inhibitory effects of neuraminidase inhibitors and methylglyoxal against influenza virus infection.	Arch Med Res 46 (1): 8-16, 2015
51	Doi H	Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Sex difference in the Relationship between Salivary Testosterone and Inter-Temporal Choice.	Horm Behav, 69C: 50-58, 2015
52	Tanaka T	Department of Stem Cell Biology, Atomic Bomb Disease Institute, Nagasaki University	Increased expression of PHD3 represses the HIF-1 signaling pathway and contributes to poor neovascularization in pancreatic ductal	J Gastroenterol 50(9): 975-983, 2015
53	Nakamura H	Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Direct infection of primary salivary gland epithelial cells by human T lymphotropic virus type I in patients with Sjögren's syndrome.	Arthritis Rheumatol 67(4): 1096-1106, 2015
54	Imaizumi M	Department of Internal Medicine, Graduate School of Biochemical Sciences, Nagasaki University	Association of radiation dose with prevalence of thyroid nodules among atomic bomb survivors exposed in childhood (2007-2011).	JAMA Intern Med. 175(2):228-236, 2015
55	So G	Department of Neurosurgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Candesartan improves ischemia-induced impairment of the blood-brain barrier in vitro.	Cell Mol Neurobiol 35(4): 563-572, 2015
56	Miyazaki T	Department of Surgical Oncology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Inflammation-based scoring is a useful prognostic predictor of pulmonary resection for elderly patients with clinical stage I non-small-cell lung cancer.	Eur J Cardiothorac Surg 47(4): e140-e145, 2015
57	Miyazaki T	Department of Surgical Oncology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Airway Stent Insertion Simulated With a Three-Dimensional Printed Airway Model.	Ann Thorac Surg 99(1): e21-e23, 2015
58	Okano K	Department of Orthopedic Surgery, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki	Relationship between developmental dislocation of the hip in infant and acetabular dysplasia at skeletal maturity.	Medicine (Baltimore). 94(1):e268, 2015
59	Minami H	Department of Gastroenterology and Hepatology, Nagasaki University Hospital	Clinical application of endoscopic ultrasonography for esophageal achalasia.	Dig Endosc 27(Suppl.1): 11-16, 2015
60	Fujita F	Department of Transplantation and Digestive Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	To the editor: Is the serum level of reactive oxygen metabolites appropriate for evaluating short-term surgical stress of patients undergoing colectomy?	Int Surg 100(4): 770-772, 2015
61	Fukuoka J	Department of Pathology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Rare idiopathic intestinal pneumonias (IIPs) and histologic patterns in new ATS/ERS multidisciplinary classification of the IIPs.	Eur J Radiol. 2015 Mar;84(3):542-6
62	Murata H	Department of Anesthesiology, Nagasaki University	Combined airwayscope and fiberoptic bronchoscopic airway management in a patient with a tracheal bronchus.	J Cardiothorac Vasc Anesth 29(2): e19-20
63	Sakamoto N	Second Department of Internal Medicine, Nagasaki University School of Medicine	Elevated plasma alpha-defensins in patients with acute exacerbation of fibrotic interstitial pneumonia.	Resp Med 109: 265-271, 2015
64	Mbanefo EC	Department of Immunogenetics, Institute of Tropical Medicine (NEKKEN) and Global COE Program, Nagasaki University	Immunogenicity and anti-fecundity effect of nanoparticle coated glutathione S-transferase (SjGST) DNA vaccine against murine Schistosoma japonicum infection.	Parasitol Int 64(4):24-31, 2015
65	Kaneko K	Department of Otolaryngology - Head and Neck Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Bisphosphonate-related osteonecrosis of the palatal torus.	ORL-Journal for Oto-Rhino-Laryngology and Its Related Specialties 76: 353-356, 2014

小計3

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

## (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
66	Chiba T	Department of Investigative Pathology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Chronological analysis of caloric restriction-induced alteration of fatty acid biosynthesis in white adipose tissue of rats.	Exp Gerontol. 2015 Mar;63:59-66. doi: 10.1016/j.exger.2015.01.043. Epub 2015 Jan 20
67	Muto S	Department of Cardiovascular Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Sinus arrest as a result of rivastigmine in an elderly dementia with lewy bodies patient.	Geriatr Gerontol Int 15(2): 229-230, 2015
68	Horie I	Department of Endocrinology and Metabolism, Nagasaki University Hospital	Efficacy of nutrition therapy for glucose intolerance in Japanese women diagnosed with gestational diabetes based on IADPSG criteria during early	Diabetes Res Clin Pract. 107(3):400-406, 2015
69	Minami H	Nagasaki University Hospital	Khashab MA, Messallam AA, Onimaru M, Teitelbaum EN, Ujiki MB, Gitelis ME, Modayil RJ, Hungness ES, Stavropoulos SN, El Zein MH, Shiwaku H, Kunda R, Repici A. International multicenter experience with peroral endoscopic myotomy for the treatment of spastic esophageal disorders refractory to medical therapy (with video).	Gastrointest Endosc 81(5): 1170-1177, 2015
70	Nakagomi O	Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Effectiveness of a monovalent rotavirus vaccine in infants in Malawi after programmatic roll-out: an observational and case-control study.	Lancet Infect Dis 15(4): 422-428, 2015
71	Kodama Y	Department of Hospital Pharmacy, Nagasaki University Hospital	Quaternary complexes modified from pDNA and poly-L-lysine complexes to enhance pH-buffering effect and suppress cytotoxicity.	J Pharm Sci 104(4): 1470-1477, 2015
72	Sasaki E	Department of Hygiene and Molecular Epidemiology, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Molecular identification of a G2 rotavirus that provided a G1P[4] mono-reassortant with a DS-1-like genotype constellation.	J Med Virol 87(4): 694-701, 2015
73	Ichinose K.	Department of Immunology and Rheumatology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Distinguishing the cerebrospinal fluid cytokine profile in neuropsychiatric systemic lupus erythematosus from other autoimmune neurological diseases.	Clin Immunol. 157(2):114-120, 2015
74	Kashima Y	Dept of Pathology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Pulmonary hypertension associated with obliterative phlebitis in IgG4-related lung disease.	Eur Respir J. 2015 Mar;45(3):842-5
75	Utani A	Department of Dermatology, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Wound fixation for pressure ulcers: a new therapeutic concept based on the physical properties of wounds.	J Tissue Viability 24: 35-40, 2015
76	Minami H	Department of Gastroenterology and Hepatology, Nagasaki University Hospital	New Endoscopic Indicator of Esophageal Achalasia: "Pinstripe Pattern".	PLoS One 10(2): e0101833, 2015
77	Tominaga T	Department of Surgical Oncology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Science	Short-term outcomes of laparoscopic surgery for colorectal cancer in oldest-old patients.	Dig Surg 32(1): 32-38, 2015
78	Fukuoka J	Department of Laboratory of Pathology, Nagasaki University Hospital	Broader criteria of undifferentiated connective tissue disease in idiopathic interstitial pneumonias.	Respir Med. 2015 Mar;109(3):389-96
79	Nanashima A	Department of Surgical Oncology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Current status of photodynamic therapy in digestive tract carcinoma in Japan.	Int J Mol Sci 16(2): 3434-3440, 2015
80	Yamamoto T	Division of Forensic Pathology and Science, Nagasaki University School of Medicine	Pasteurella multocida Septicemia in a Patient with Cirrhosis An Autopsy Report. Case rep Infect Dis.	2015;597806. doi: 10.1155/2015/597806. Epub 2015 Jan 27
81	Yamamoto K	Department of Molecular Microbiology and Immunology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences.	Induction of STAT3-dependent CXCL5 expression and neutrophil recruitment by Oncostatin-M during pneumonia.	Am J Respir Cell Mol Biol. 2015;53(4):479-88
82	Fujishita A	Saiseikai Nagasaki Hospital	Decreased expression of human heat shock protein 70 in the endometria and pathological lesions of women with adenomyosis and uterine myoma after GnRH agonist therapy.	Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol. 187C:6-13, 2015
83	Kamohara R	Department of Surgical Oncology, Nagasaki University School of Medicine and Graduate School of Biomedical Sciences	Overexpression of the adiponectin gene mimics the metabolic and stress resistance effects of calorie restriction, but not the anti-tumor effect.	Experimental Gerontology, 84, 46-54, 2015
84	Bayarsaikhan G	Department of Molecular Microbiology and Immunology, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Antigen-driven focal inflammatory death of malaria liver stages, Front Microbiol, doi	10.3389/fmicb.2015.00047 (IF 3.9) Feb 2015
85	Kuwatsuka S	Department of Dermatology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Proposal of the new name "eruptive papular collageno-elastopathy" to unify the two indistinguishable entities, eruptive collagenoma and	J Dermatol 42: 440-1, 2015
86	Ishikawa T	Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Novel mutation in the alpha-myosin heavy chain gene is associated with sick sinus syndrome.	Circ Arrhythm Electrophysiol. 8(2): 400-8, 2015

小計4

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

## (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
87	Nishino T	Division of Nephrology, Nagasaki University	Courtoy PJ: Regulation of macrophage motility by the water channel aquaporin-1: crucial role of M0/M2 phenotype switch.	PLoS One 10(2): e0117398, 2015
88	Nakagomi O	Division of Molecular Epidemiology, Graduate School of Biomedical Sciences and Global Centre of Excellence, Nagasaki University	Reduction in Rotavirus Disease and Sustained Predominance of G2P[4] Rotavirus Strain following Introduction of Rotavirus Vaccine in Recife, Brazil.	J Trop Pediatr 61(3): 206-209, 2015
89	Murata H	Department of Anesthesiology, Nagasaki University School of Medicine	Pecs block for anesthesia in breast cancer of the elderly.	J Anesth 29(4): 644, 2015
90	Kurosaki T	Department of Hospital Pharmacy, Nagasaki University Hospital	Splenic gene delivery system using self-assembling nano-complex with phosphatidylserine analog.	Biol Pharm Bull 38(1): 23-29, 2015
91	Kitamura M	Second Department of Internal Medicine, Nagasaki University School of Medicine	The kampo medicine Daikenchuto inhibits peritoneal fibrosis in mice.	Biol Pharm Bull 38(2): 193-200, 2015
92	Tsuji Y	Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki, Japan	Alogliptin, a dipeptidyl peptidase-4 inhibitor, regulates the atrial arrhythmogenic substrate in rabbits.	Heart Rhythm. 12(6): 1362-9, 2015
93	Baba M	Department of Hematology, Unit of Atomic Bomb Disease and Hibakusha Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	The level of bone marrow WT1 message is a useful marker to differentiate myelodysplastic syndromes with low blast percentage from cytopenia due to other reasons.	Intern Med 54(5):445-51, 2015
94	Hayashida N	Division of Strategic Collaborative Research, Center for promotion of collaborative research on radiation and environment health effects, Atomic Bomb Disease Institute, Nagasaki University	Thyroid ultrasound findings in a follow-up survey of children from three Japanese prefectures: Aomori, Yamanashi, and Nagasaki.	Sci Rep. 5:9046, 2015
95	Morinaga Y	Department of Laboratory Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical	Active surveillance of methicillin-resistant Staphylococcus aureus using a fully-automated molecular test in an emergency medical center, Jpn	J Infect Dis. 68 (5): 376-380, 2015
96	Nakamura S	Department of Respiratory Diseases Unit of Molecular Microbiology and Immunology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Macrolides Promote CCL2-Mediated Macrophage Recruitment and Clearance of Nasopharyngeal Pneumococcal Colonization in Mice.	J Infect Dis. 212(7):1150-9, 2015
97	Miura K	Department of Obstetrics and Gynecology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Pregnancy-associated microRNAs in plasma as potential molecular markers of ectopic pregnancy.	Fertil Steril 103: 1202-1208, 2015
98	Kawano H	Department of Cardiovascular Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Rivaroxaban therapy resulting in the resolution of right atrial thrombosis resistant to ordinary control with warfarin in a patient with atrial fibrillation.	Intern Med 54(6): 601-604, 2015
99	Nakane S	Department of Clinical Research, Nagasaki Kawatana Medical Center, Nagasaki, Japan; Department of Neurology, Nagasaki Kawatana Medical Center	Clinical features of autoimmune autonomic ganglionopathy and the detection of subunit-specific autoantibodies to the ganglionicacetylcholine receptor in Japanese patients.	Plos One. 10:e0118312, 2015
100	Inoue S	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Histological study of the elongated esophagus in a rat model.	J Surg Res 195(2): 495-501, 2015
101	Miyata Y	Department of Urology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Smoking-induced changes in cancer-related factors in patients with upper tract urothelial cancer.	Mol Clin Oncol 3(2):287-294, 2015
102	Sadykov N	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Peritoneal Recurrence of Initially Controlled Hepatocellular Carcinoma after Living Donor Liver Transplantation.	Case Reports in Gastroenterology 9: 29-35, 2015
103	Sakimura T	Department of Orthopaedic Surgery, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki	Biofilm-forming Staphylococcus epidermidis expressing vancomycin resistance early after adhesion to a metal surface.	Biomed Res Int, 2015
104	Hayashi K	Department of Neurosurgery, Nagasaki University School of Medicine	A case of neurofibromatosis type 1 complicated with repeated intracerebral hemorrhage due to quasi-moyamoya disease.	J Stoke Cerebrovasc Dis. 24(5):e109-13, 2015
105	Shimokawa I	Department of Pathology, Nagasaki University School of Medicine and Graduate School of Biomedical Sciences	The life-extending effect of dietary restriction requires Foxo3 in mice.	Aging Cell, 14, 707-709, 2015
106	Yanagihara K	Department of Laboratory Medicine, Nagasaki University Hospital	Correlations between extent of X-ray infiltration and levels of serum C-reactive protein in adult non-severe community-acquired pneumonia.	J Infect Chemother 21(6):456-63, 2015

小計5

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

## (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
107	Morinaga Y	Nagasaki University School of Medicine	Nationwide surveillance of bacterial respiratory pathogens conducted by the surveillance committee of Japanese Society of Chemotherapy, the Japanese Association for Infectious Diseases, and the Japanese Society for Clinical Microbiology in 2010: General view of the pathogens' antibacterial	J Infect Chemother 21(6):410-20, 2015
108	Nakashima S	Second Department of Internal Medicine, Nagasaki University School of Medicine	Identification of Helicobacter pylori VacA in human lung and its effects on lung cells.	Biochem Biophys Res Commun 460(3): 721-726, 2015
109	Hashiguchi K	Department of Gastroenterology and Hepatology, Graduate School of Biomedical Science, Nagasaki University	Advantages of Fecal Lactoferrin Measurement during Granulocyte and Monocyte Adsorptive Apheresis Therapy in Ulcerative Colitis.	Digestion 91(3): 208-217, 2015
110	Satoh K	Department of Molecular Microbiology and Immunology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Stability and Reproducibility Underscore Utility of RT-QuIC for Diagnosis of Creutzfeldt-Jakob Disease.	Mol Neurobiol, 2015 [Epub ahead of print]
111	Ogawara D	Second Department of Internal Medicine, Nagasaki University Hospital; Unit of Molecular Microbiology and Immunology	Phase I/II study of amrubicin and nedaplatin in patients with untreated, advanced, non-small cell lung cancer.	Chemotherapy 60(3): 180-184, 2015 Mar 25
112	Soyama A	Department of Surgery, Graduate School of Biomedical Sciences Nagasaki University	Acute and chronic postsurgical pain after living liver donation: Incidence and predictors.	Liver Transpl 21(8): 1109, 2015
113	Kawakami A	Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Longterm Safety and Efficacy of Subcutaneous Tocilizumab Monotherapy: Results from the 2-year Open-label Extension of the MUSASHI Study.	J Rheumatol. 42(5):799-809, 2015
114	Takashi Miura	Department of Cardiovascular Surgery, Nagasaki University	A modified Bentall procedure in a patient with a displaced left coronary ostium.	Gen Thorac Cardiovasc Surg 63: 530-532, 2015
115	Fujikawa A	Department of Ophthalmology, Nagasaki University Hospital	Antibodies to myelin oligodendrocyte glycoprotein in idiopathic optic neuritis.	BMJ Open. 5(4):e007766, 2015
116	Natsuda S	Department of Endocrinology and Metabolism, Nagasaki University Hospital	Thyroid storm precipitated by duodenal ulcer perforation.	Case Rep Endocrinol. 750390, 2015
117	Isomoto H	Department of Gastroenterology and Hepatology, Nagasaki University Hospital	In vivo fluorescence navigation of gastric and upper gastrointestinal tumors by 5-aminolevulinic acid mediated photodynamic diagnosis with a laser-equipped video image endoscope.	Photodiagnosis Photodyn Ther 12(2): 201-208, 2015
118	Nakagomi O	Department of Molecular Microbiology and Immunology, Nagasaki University	Determination of a Viral Load Threshold To Distinguish Symptomatic versus Asymptomatic Rotavirus Infection in a High-Disease-Burden African	J Clin Microbiol 53(6): 1951-1954, 2015
119	Kawashiri SY	Departments of Immunology and Rheumatology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Automated Breast Volume Scanner, a new automated ultrasonic device, is useful to examine joint injuries in patients with rheumatoid arthritis.	Mod Rheumatol. 25(6):837-841, 2015
120	Nakazato M	Department of Island and Community Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Science	Association between hemoglobin A1c and carotid atherosclerosis in rural community-dwelling elderly Japanese men.	J Physiol Anthropol. 1;34:16, 2015
121	Soyama A	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Hybrid procedure in living donor liver transplantation.	Transplant Proc 47(3): 679-682, 2015
122	Kugiyama T	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	E-cadherin expression in hepatocellular carcinoma treated with previous local treatment in patients undergoing living donor liver transplantation.	Transplant Proc 47(3): 700-702, 2015
123	Koga S	Department of Cardiovascular Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Spontaneous spiral dissection of left internal thoracic artery graft.	Int Heart J 56(3): 360-362, 2015
124	Nakamura Y	Second Department of Internal Medicine, Nagasaki University School of Medicine	Tokyo Cooperative Oncology Group: A randomized phase III trial of oral S-1 plus cisplatin versus docetaxel plus cisplatin in Japanese patients with advanced non-small-cell lung cancer:	TGO0701 CATS trial. Ann Oncol. 26(7):1401-1408, 2015
125	Miyazaki T	Department of Surgical Oncology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Infectious Episodes Lead to the Oxidative Stress Response after Lung Transplantation.	Am J Case Rep 16: 255-258, 2015
126	Horai Y	a Unit of Translational Medicine, Department of Immunology and Rheumatology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Analysis of the downstream mediators of toll-like receptor 3-induced apoptosis in labial salivary glands in patients with Sjögren's syndrome.	Mod Rheumatol. 26(1):99-104, 2015
127	Kim SE	Department of Pathology, Nagasaki University School of Medicine and Graduate School of Biomedical Sciences	Upregulation of cytochrome c oxidase subunit 6b1 (Cox6b1) and formation of mitochondrial supercomplexes: implication of Cox6b1 in the effect of calorie restriction.	Age(Dordr). 37, 9787, 2015

小計6

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

## (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
128	Agbemabiese CA	Department of Hygiene and Molecular Epidemiology, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Evolution of a G6P[6] rotavirus strain isolated from a child with acute gastroenteritis in Ghana, 2012.	J Gen Virol 96(8): 2219-2231, 2015
129	Ichinose K	Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Upregulation of thrombospondin 1 expression in synovial tissues and plasma of rheumatoid arthritis: Role of transforming growth factor-beta1 toward fibroblast-like synovial cells.	J Rheumatol. 42(6):943-947, 2015
130	Satoh K	Department of Molecular Microbiology and Immunology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences,	Validation of 14-3-3 Protein as a Marker in Sporadic Creutzfeldt-Jakob Disease Diagnostic.	Mol Neurobiol, 2015 [Epub ahead of print]
131	Kawakami A	Department of Rheumatology, Nagasaki University Hospital	Granulomatosis with polyangiitis presenting as a choroidal tumor.	Case Rep Rheumatol. e271823, 2015. *
132	Murakami T	Department of Radiological Science, Unit of Translational Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical	Autopsy findings for a case of acute gastric volvulus in a child.	Leg Med 17:351-354,2015
133	Sakai T	Department of Anesthesiology, Nagasaki University School of Medicine	Sympathotomy for palmar hyperhidrosis: the cutting versus clamping methods.	Clin Auton Res 25(5), 271-276, 2015
134	Koike Y	Department of Dermatology, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Glycosaminoglycan and versican deposits in taxane-induced sclerosis.	Br J Dermatol 173: 1054-8, 2015
135	Harrell DT	Department of Molecular Physiology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical	Genotype-dependent differences in age of manifestation and arrhythmia complications in short QT syndrome.	Int J Cardiol 190: 393-402, 2015
136	Yasunami M	Department of Clinical Medicine, Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University	Identification of disease-promoting HLA class I and protective class II modifiers in Japanese patients with familial mediterranean fever.	PLoS One. 10(5):e0125938, 2015
137	Fujita F	Department of Transplantation and Digestive Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	A recurrent granulosa cell tumor of the ovary 25 years after the initial diagnosis: A case report.	International Journal of Surgery Case Reports 12:7-10, 2015
138	Utani A	Department of Dermatology, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Current skin symptoms of Yusho patients exposed to high levels of 2,3,4,7,8-pentachlorinated dibenzofuran and polychlorinated biphenyls in 1988.	Chemosphere 137: 45-51, 2015
139	Nishida A	Department of Clinical Oncology, Unit of Translational Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Clinicoradiological outcomes of 33 cases of surgically resected pulmonary pleomorphic carcinoma: correlation with prognostic indicators.	Eur Radiol 26:25-31,2015
140	Kotake T	Department of Radiology, Nagasaki University School of Medicine	Myocarditis associated with Takayasu arteritis.	Eur Heart J 36:2564,2015
141	Sakai H	Department of Urology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Awareness of folic acid use increases its consumption, and reduces the risk of spina bifida.	Br J Nutr 114(1):84-90, 2015
142	Tateishi Y	Cerebrovascular Center, Department of Neurology and Strokeology, Nagasaki University Hospital	Large deep white matter lesions may predict futile recanalization in endovascular therapy for acute ischemic stroke.	Interv Neurol. 3(1):48-55, 2015.
143	Takatsuki M	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Technical refinement of hepatic vein reconstruction in living donor liver transplantation using left liver graft.	Ann Transplant 20: 290-296, 2015
144	Utani A	Department of Dermatology, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Yusho and its latest findings-A review in studies conducted by the Yusho Group.	Environ Int 82: 41-48, 2015
145	Tominaga T	Division of Surgical Oncology, Department of Translational Medical Sciences, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	A variant of multicystic biliary hamartoma presenting as an intrahepatic cystic neoplasm.	Clin J Gastroenterol 8(3): 162-166, 2015
146	Ide S	Department of Respiratory Diseases, Nagasaki University Graduate School of Biomedical	Epidemiology and clinical features of pulmonary nontuberculous mycobacteriosis in nagasaki, Japan.	PLoS ONE. 2015;10(5):e0128304
147	Yamamoto T	Division of Forensic Pathology and Science, Unit of Social Medicine, Course of Medical and Dental Sciences, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University School of Medicine	Autopsy report for a caffeine intoxication case and review of the current literature.	J Toxicol Pathol. 2015 Jan;28(1):33-6.
148	Nozaki A	Division of Endocrinology and Metabolism, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Quality of life in the patients with central diabetes insipidus assessed by Nagasaki Diabetes Insipidus Questionnaire.	Endocrine.51(1):140-7,2015

小計7

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

## (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
149	Doan YH	Department of Hygiene and Molecular Epidemiology, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Changes in the distribution of lineage constellations of G2P[4] Rotavirus A strains detected in Japan over 32 years (1980-2011).	Infect Genet Evol 34: 423-433, 2015
150	Miyamoto H	Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Evaluation of hypothermia on the in vitro metabolism and binding and in vivo disposition of midazolam in	Biopharm Drug Dispos 36(7): 481-9, 2015
151	Hasegawa Y	Department of Obstetrics and Gynecology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Increased Levels of Cell-Free miR-517a and Decreased Levels of Cell-Free miR-518b in Maternal Plasma Samples From Placenta Previa Pregnancies at 32 Weeks of Gestation.	Reprod Sci 22(12):1569-76, 2015
152	Hayashi K	Department of Neurosurgery, Nagasaki University School of Medicine	Intraoperative Angiography Using Portable Fluoroscopy Unit in the Treatment of Vascular Malformation.	Neurol Med Chir (Tokyo): 55(6): 505-509, 2015
153	Homma T	Department of Molecular Microbiology and Immunology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Ubiquitin-specific protease 14 modulates degradation of cellular prion protein.	Sci Rep(www.nature.com/srep)No. 5: 11028, 2015
154	Hirabaru M	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	A Method for Performing Islet Transplantation Using Tissue-Engineered Sheets of Islets and Mesenchymal Stem Cells.	Tissue Eng Part C Methods 21(12): 1205-1215, 2015
155	Ichikawa T	Department of Gastroenterology and Hepatology, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Serum Wisteria Floribunda Agglutinin-Positive Mac-2 Binding Protein Values Predict the Development of Hepatocellular Carcinoma among Patients with Chronic Hepatitis C after Sustained Virological	PLoS One, Jun 12;10(6):e0129053,2015
156	Takatsuki H	Department of Molecular Microbiology and Immunology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Rapid and Quantitative Assay of Amyloid-Seeding Activity in Human Brains Affected with Prion Diseases.	PLoS One(www.plosone.org)No.10: e0126930, 2015
157	Adachi T	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Safety and efficacy of early drain removal and triple-drug therapy to prevent pancreatic fistula after distal pancreatectomy.	Pancreatolgy 15(4): 411-416, 2015
158	Sato Y	Department of Dermatology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Axillary syringomas misdiagnosed as pseudoxanthoma elasticum for years.	J Dermatol 42: 933-4, 2015
159	Tayama J	Graduate School of Education, Nagasaki University, Nagasaki, Japan; Center for Health and Community Medicine, Nagasaki	Maladjustment to Academic Life and Employment Anxiety in University Students with Irritable Bowel Syndrome.	Journal.pone.0129345. eCollection 2015. 10(6):e0129345. doi: 10.1371. 2015 Jun 17
160	Takamura T	1Unit of Basic Medical Sciences, Course of Medical and Dental Sciences, Department of Neurobiology and Behavior, Graduate School of Biomedical Sciences	Developmental changes in the neural responses to own and unfamiliar mother's smiling face throughout puberty.	Front Neurosci 9:200, eCollection 2015
161	Tsujino A	3Neurology and Strokeology, Nagasaki University School of Medicine	Communication of inwardly projecting neovessels with the lumen contributes to symptomatic intraplaque hemorrhage in carotid artery stenosis.	J Neurosurg. 123(5):1125-1132, 2015
162	Shida Y	Department of Nephro-Urology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Composite pheochromocytoma of the adrenal gland: a case series.	BMC Res Notes 8:257:1233-8, 2015
163	Ogawara D	Second Department of Internal Medicine, Nagasaki University Hospital	Drug fever after cancer chemotherapy is most commonly observed on posttreatment days 3 and 4. Support Care Cancer.	2016 Feb;24(2):615-9. doi: 10.1007/s00520-015-2820-8. Epub 2015 Jun 25
164	Shimizu Y	Department of Community Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical	Salt intake and mental distress among rural community-dwelling men.	J Physiol Anthropol 34(1): 26, 2015
165	Hasegawa H	Department of Laboratory Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical	Superoxide-Generating Nox5 $\alpha$ Is Functionally Required for the Human T-Cell Leukemia Virus Type 1-Induced Cell Transformation Phenotype.	J Virol 89(17):9080-9, 2015
166	Uematsu M	Department of Ophthalmology and Visual Sciences, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Acute corneal toxicity of Xalatan and some generics.	Invest Ophthalmol Vis Sci: E-abstract 1187 - D0089, 2015
167	Sakai H	Department of Nephro-Urology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Phase I/II study of S-1 in combination with sorafenib for metastatic renal cell carcinoma.	Ann Oncol 26(9):1871-1876, 2015
168	Funahara M	Department of Clinical Oral Oncology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Efficacy of topical antibiotic administration on the inhibition of perioperative oral bacterial growth in oral cancer patients: a preliminary study.	Int J Oral Maxillofac Surg 44(10): 1225-30, 2015
169	Konno T	Department of Molecular Physiology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical	Functional Characterization of Rare Variants Implicated in Susceptibility to Lone Atrial Fibrillation.	Circ Arrhythm Electrophysiol. 8(5): 1095-104, 2015

小計8

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

## (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
170	Fukui S	Department of Immunology and Rheumatology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	RS3PE Syndrome with Iliopsoas Bursitis Distinguished from an Iliopsoas Abscess Using a CT-guided Puncture. Intern Med.	54(13):1653-1656, 2015
171	Kawano H	Department of Cardiovascular Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical	Giant Left Atrial Appendage Mimicking a Mediastinal Tumor.	Intern Med J. 54(13): 1671-1672,2015
172	Sakai Y	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Vascularized subcutaneous human liver tissue from engineered hepatocyte/fibroblast sheets in mice.	Biomaterials 65: 66-75, 2015
173	Aoyagi K	School of Medicine, Nagasaki University	Allostatic load differs by sex and diet, but not age in older Japanese from the Goto Islands.	Ann Hum Biol. 43(1):34-41, 2016
174	Muraoka I	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Efficiency of herbal medicine Dai-kenchu-to on portal blood flow in rat models.	Annals of Medicine and Surgery 4: 211-214, 2015
175	Nagayoshi M	Department of Community Medicine, Nagasaki University	Objectively measured sleep characteristics and prevalence of coronary artery calcification: the Multi-Ethnic Study of Atherosclerosis Sleep study.	Thorax Sep;70(9): 880-7, 2015
176	Fukuoka J	Department of Pathology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Crucial roles of RSK in cell motility by catalysing serine phosphorylation of EphA2.	Nat Commun. 2015 Jul 9;6:7679
177	Tobinaga S	Division of Surgical Oncology, Department of Translational Medical Sciences, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Keratinocyte Growth Factor Gene Electroporation into Skeletal Muscle as a Novel Gene Therapeutic Approach for Elastase-Induced Pulmonary Emphysema in Mice.	Acta Histochem Cytochem 48(3): 83-94, 2015
178	Tomoshige K	Division of Surgical Oncology, Department of Translational Medical Sciences, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Germline mutations causing familial lung cancer.	J Hum Genet 60(10): 597-603, 2015
179	Nagayama Y	Department of Molecular Medicine, Atomic Bomb Disease Institute, Nagasaki University bDepartment of Endocrinology and Metabolism, Unit of Translational Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Animal models of Graves' disease and Graves' orbitopathy. Current opinion in endocrinology, diabetes, and obesity.	22(5):381-386, 2015.
180	Karata H	Department of Pathology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Pathological and radiological correlation in an autopsy case of combined pulmonary fibrosis and emphysema.	Int J Chron Obstruct Pulmon Dis. 2015 Jul 8;10:1299-303
181	Akazawa Y	Department of Gastroenterology and Hepatology, Nagasaki University Hospital	BH3-only protein Bim is associated with the degree of Helicobacter pylori-induced gastritis and is localized to the mitochondria of inflammatory cells in the gastric mucosa.	Int J Med Microbiol 305(6): 553-562, 2015
182	Ohnita K	Department of Gastroenterology and Hepatology, Nagasaki University Hospital	Early stage signet ring cell carcinoma of the colon examined by magnifying endoscopy with narrow-band imaging: a case report.	BMC Gastroenterol 15:86, 2015
183	Kawashiri SY	Department of Public Health, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	A case of lacrimal sarcoidosis following interstitial pneumonia: imaging and management.	Nihon Rinsho Meneki Gakkai Kaishi. 38(3):164-168, 2015
184	Wakata K	Division of Surgical Oncology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	A favourable prognostic marker for EGFR mutant non-small cell lung cancer: immunohistochemical analysis of MUC5B.	BMJ open 5(7): e008366, 2015
185	Hayashida H	Department of Oral Health, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Relationship among salivary antioxidant activity, cytokines, and periodontitis: the Nagasaki Island study.	J Clin Periodontol. 42(8): 711-718, 2015
186	Yamanashi H	Department of Island and Community Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Science	Exercise-Induced Pulmonary Edema in Triathlon.	Case Report in Medicine 2015: 968152, 2015
187	Okada M	Department of Pediatrics, Nagasaki University School of Medicine	Long-Term Morbidity and Mortality in Children with Chronic Graft-versus-Host Disease Classified by National Institutes of Health Consensus Criteria after Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation.	Biology of blood and marrow transplantation21(11):1973-1980,2014
188	Fukuoka J	Department of Pathology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	A case of spontaneous regression of pulmonary mucosa-associated lymphoid tissue (MALT) type lymphoma with Sjögren's syndrome treated with methotrexate for rheumatoid arthritis.	Respir Med Case Rep. 2015 Mar 3;15:4-6.
189	Yoshida S	Division of Plastic & Reconstructive Surgery, Department of Developmental & Reconstructive Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Adipose-derived stem cell transplantation for therapeutic lymphangiogenesis in a mouse secondary lymphedema model.	Regen Med.10(5):549-62, 2015

小計9



(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

## (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
190	Kitajima Y	Department of Stem Cell Biology, Atomic Bomb Disease Institute, Nagasaki University	Estrogen deficiency heterogeneously affects tissue specific stem cells in mice.	Sci Rep 6:512861, 2015
191	Muro T	Department of Clinical Pharmacy, Nagasaki University Hospital	Post-operative infection of endoscopic submucosal dissection of early colorectal neoplasms: a case-controlled study using a Japanese database	Journal of Clinical Pharmacy and Therapeutics, 1-5, 2015
192	Sakai T	Nagasaki University School of Medicine, Nagasaki	In response: Looking for a standardized approach in the surgical treatment of hyperhidrosis.	Clin Auton Res 25(5), 345, 2015
193	Yoshida LM	Department of Pediatrics, Nagasaki University School of Medicine	Modelling the impact of rubella vaccination in Vietnam.	Human Vaccines & Immunotherapeutics.2015 Aug 11:0. [Epub ahead of print] (Accepted in May 2015),2015
194	Akazawa S	Department of Endocrinology and Metabolism, Unit of Translational Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Haploinsufficiency of interferon regulatory factor 4 strongly protects against autoimmune diabetes in NOD mice.	Diabetologia. 58(11):2606-2614, 2015
195	Agbemabiese CA	Department of Hygiene and Molecular Epidemiology, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Whole genomic constellation of the first human G8 rotavirus strain detected in Japan.	Infect Genet Evol 35: 184-193, 2015
196	Izumikawa K	Department of Molecular Microbiology and Immunology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Verweij PE, Ananda-Rajah M, Andes D, Arendrup MC, Brüggemann RJ, Chowdhary A, Cornely OA, Denning DW, Groll AH, Izumikawa K, Kullberg BJ, Lagrou K, International expert opinion on the management of infection caused by azole-resistant <i>Aspergillus fumigatus</i> .	Drug Resist Updat 21-22:30-40, 2015
197	Koga S	Department of Cardiovascular Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	iMap-intravascular ultrasound radiofrequency signal analysis reflects plaque components of optical coherence tomography-derived thin-cap fibroatheroma.	Circ J 79(10): 2231-2237, 2015
198	Maemura K	Department of Cardiovascular Medicine, Course of Medical and Dental Sciences, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Reliability of measurement of endothelial function across multiple institutions and establishment of reference values in Japanese.	Atherosclerosis 242(2): 433-442, 2015
199	Sasaki D	Department of Laboratory Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical	Standardization of Quantitative PCR for Human T-Cell Leukemia Virus Type 1 in Japan: a Collaborative Study.	J Clin Microbiol 53(11):3485-91, 2015
200	Kakehashi H	Department of Regenerative Oral Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Administration of teriparatide improves the symptoms of advanced bisphosphonate-related osteonecrosis of the jaw: preliminary findings.	Int J Oral Maxillofac Surg. 44(12):1558-1564, 2015
201	Miyata Y	Department of Urology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Safety and efficacy of combination therapy with low-dose gemcitabine, paclitaxel, and sorafenib in patients with cisplatin-resistant urothelial cancer.	Med Oncol 32(10):235, 2015
202	Akazawa Y	Department of Gastroenterology and Hepatology, Nagasaki University Hospital	Primary pleural angiosarcoma associated with pneumoconiosis: An autopsy case.	Pathol Int 65(11): 603-607, 2015
203	Honda A	Department of Nursing, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Communication, support and psychosocial work environment affecting psychological distress among working women aged 20 to 39 years in Japan.	Ind Health. 29:54(1):5-13, 2016
204	Nagata Y	Center for Comprehensive Community Care Education, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Multidisciplinary therapy for granulocyte-colony-stimulating factor producing carcinosarcoma of the esophagus: report of a case.	Clin Case Rep. Aug;3(8):681-5, 2015
205	Kakoki K	Department of Urology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Renal dysfunction due to hydronephrosis by SAPHO syndrome: a case report.	Clin Case Rep 3(8):686-689, 2015
206	Ashizawa K	Department of Clinical Oncology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Asbestosis and other pulmonary fibrosis in asbestos-exposed workers: high-resolution CT features with pathological correlations.	Eur Radiol 2015.9.3
207	Tomita Y	From the Department of Public Health, Nagasaki University Graduate School of Biomedical	Association of Physical Performance and Pain With Fear of Falling Among Community-Dwelling Japanese Women Aged 65 Years and Older.	Medicine (Baltimore). 94(35):e1449, 2015
208	Matsushima H	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Sox9 expression in carcinogenesis and its clinical significance in intrahepatic cholangiocarcinoma.	Dig Liver Dis. 47(12): 1067-1075, 2015
209	Kiyoshi A.	Department of Public Health, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Polysaccharides from <i>Enteromorpha prolifera</i> Improve Glucose Metabolism in Diabetic Rats.	J Diabetes Res. 675201, 2015
210	Ashizawa K	Department of Clinical Oncology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Ultra-High-Resolution Computed Tomography of the Lung: Image Quality of a Prototype Scanner.	PLoS One. 10(12):e0145357,Dec 18,2015

小計10

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

## (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
211	Akita S.	Nagasaki University Hospital	Lower Extremity Wounds in Patients With Idiopathic Thrombocytopenic Purpura and Systemic Lupus Erythematosus.	Int J Low Extrem Wounds 14(3):224-30, 2015
212	Yamakawa H	Department of Laboratory Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Multicenter evaluation of the Verigene Gram-negative blood culture nucleic acid test for rapid detection of bacteria and resistance determinants in positive blood cultures.	Diagn Microbiol Infect Dis 83(4):344-8, 2015
213	Shimizu Y	Department of Community Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical	Circulating CD34-positive cells, glomerular filtration rate and triglycerides in relation to hypertension.	Atherosclerosis 243(1): 71-76, 2015
214	Urabe S	Department of Gastroenterology and Hepatology, Nagasaki University Hospital	A Case of Cronkhite-Canada Syndrome with a Colitis-mimicking Endoscopic Presentation.	J Crohns Colitis 9(12): 1179-1180, 2015
215	Ishibashi D	Department of Gastroenterology and Hepatology, Nagasaki University Hospital	Strain-Dependent Effect of Macroautophagy on Abnormally Folded Prion Protein Degradation in Infected Neuronal Cells.	PLoS One(www.plosone.org) No.10:e0137958, 2015
216	Nakata T	Department of Cardiovascular Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Impact of catheter sheath insertion into the radial artery on vascular endothelial function assessed by reactive hyperemia peripheral arterial tonometry.	Int Heart J 56(5): 489-494, 2015
217	Yoshimura S	Unit of Translational Medicine, Department of Clinical Neuroscience and Neurology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Abnormal distribution of AQP5 in labial salivary glands is associated with poor saliva secretion in patients with Sjögren's syndrome including neuromyelitis optica complicated patients.	Mod Rheumatol. 16:1-21,2015
218	Do LP	Department of Hygiene and Molecular Epidemiology, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Whole genome analysis of Vietnamese G2P[4] rotavirus strains whose NSP2 gene had a common ancestral sequence with Chinese sheep and goat rotavirus strains.	Microbiol Immunol 59(10): 605-613, 2015
219	Yamamoto I	Department of Mechanical Science, Nagasaki University Graduate School	Research on seamless development of surgical instruments based on biological mechanisms using CAD and 3D printer.	Biomed Mater Eng 26(Suppl 1): S341-345, 2015
220	Miyazaki T	Department of Surgical Oncology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Management of unexpected intraoperative bleeding during thoracoscopic pulmonary resection: a single institutional experience.	Surg Today: Epub ahead of print, 2015
221	Nakagomi T	Division of Molecular Epidemiology, Graduate School of Biomedical Science	Determination of cut-off cycle threshold values in routine RT-PCR assays to assist differential diagnosis of norovirus in children hospitalized for acute gastroenteritis.	Epidemiol Infect 143(15): 3292-3299, 2015
222	Tamura T	Division of Immunology, Department of Molecular Microbiology and Immunology, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Reduction of conventional dendritic cells during Plasmodium infection is dependent on activation induced death by type I and II interferons, Experimental Parasitology.	Exp. Parasitol., 159: 127-135, Sep 2015
223	Honda T	Department of Cardiovascular Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Coronary artery pseudoaneurysm due to medial mucoid degeneration mimicking an intra-atrial mass.	Intern Med 54(19): 2453-2458, 2015
224	Yamaguchi H	Second Department of Internal Medicine, Nagasaki University Hospital	Transforming somatic mutations of mammalian target of rapamycin kinase in human cancer.	Cancer science. 2015 Dec;106(12):1687-92
225	Yanagisawa H	Department of Laboratory Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Prospective intervention study with a microarray-based, multiplexed, automated molecular diagnosis instrument (Verigene system) for the rapid diagnosis of bloodstream infections, and its impact on the	J Infect Chemother 21(12):849-56, 2015
226	Yano H	Departments of Plastic and Reconstructive Surgery, Nagasaki University School of Medicine	The Prolonged Double Vision Is not Only Caused by Adhesion of Orbital Contents After Blowout Fractures: Important Role of the Orbital	J Craniofac Surg.26(7): e680-1, 2015
227	Eguchi S	Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Cancer Cell Interaction with Adipose Tissue: Correlation with the Finding of Spiculation at Mammography.	Radiology. 2015 Oct 9:142191
228	Yamanouchi K	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Increase in Operator's Sympathetic Nerve Activity during Complicated Hepatobiliary Surgery: Evidence for Surgeons' Mental Stress.	Tohoku J Exp Med 237(3): 157-162, 2015
229	Kawano H	Department of Cardiovascular Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Use of rivaroxaban for the effective management of disseminated intravascular coagulation associated with abdominal aortic aneurysm.	Intern Med 54(20): 2625-2628, 2015
230	Origuchi T	Department of Health Sciences, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	The stiff elastographic change of submandibular glands rapidly improves after the introduction of glucocorticoid treatment in patients with IgG4-related dacryoadenitis and sialoadenitis.	Mod Rheumatol.16:1-2, 2015
231	Kajihara T	Department of Respiratory Diseases, Nagasaki University Graduate School of Biomedical	Clinical characteristics and risk factors of enterococcal infections in Nagasaki, Japan: a retrospective study.	BMC Infect Dis. 15:426, 2015

小計11

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

## (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
232	Machino R	Department of Surgical Oncology Pathology Clinical Oncology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	A Rare Case of Primary Pulmonary Glomus Tumor.	J Thorac Imaging. Nov;30(6):W76- 9,2015
233	Iwao A	Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Nagasaki University School of Medicine	The Cranial Base Fracture after the Caldwell-Luc Operation.	Plast Reconstr Surg Glob Open.19;3(8): e483. 2015
234	Farhana S	Department of Radiology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	The phrenic nerve with accompanying vessels: a silent cause of cardiovascular border obliteration on chest radiography.	Jpn J Radiol.2015.10.26
235	KINOSHITA T	Department of Neuropsychiatry, Unit of Translational Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Differential impacts of duration of untreated psychosis (DUP) on cognitive function in first- episode schizophrenia according to mode of onset	European Psychiatry 30 (2015), pp. 995-1001
236	Miyata Y	Department of Urology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Reconsideration of the clinical and histopathological significance of angiogenesis in prostate cancer: Usefulness and limitations of microvessel density measurement.	Int J Urol 22(9):806-815, 2015
237	Sueyoshi E	Department of Radiology, Nagasaki University School of Medicine	Rapidly progressive calcification of the false lumen in aortic dissection.	J Vasc Surg 62:1328-1329,2015
238	Makita N	Department of Molecular Physiology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical	connexin-43, and conduction abnormalities in the Brugada syndrome.	J Am Coll Cardiol. 66(18): 1976- 86, 2015
239	Takeda K	Department of Respiratory Diseases, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	The risk factors for developing of chronic pulmonary aspergillosis in nontuberculous mycobacteria patients and clinical characteristics and outcomes in chronic pulmonary aspergillosis patients coinfectd with nontuberculous mycobacteria.	Med Mycol. 2016 Feb 1;54(2):120- 7. doi: 10.1093/mmy/myv093. Epub 2015 Nov 3
240	Nakamura H	Unit of Translational Medicine, Department of Immunology and Rheumatology	Reevaluation for clinical manifestations of HTLV-I- seropositive patients with Sjögren's syndrome.	BMC musculoskeletal disorders 16(1): 335, 2015
241	Hashizume M	Department of Paediatric Infectious Diseases, Institute of Tropical Medicine, Nagasaki	An Early Detection of Decline in Rotavirus Cases during the 2013/2014 Season in Japan as Revealed by Time-series Analysis of National Surveillance	Trop Med Health 43(3): 177-181, 2015
242	Miura S	Tissue and Histopathology Section, Atomic Bomb Disease Institute, Nagasaki University	The Nagasaki Atomic Bomb Survivors' Tumor Tissue Bank.	Lancet 386(10005): 1738, 2015
243	Yoshida T	Department of Cardiovascular Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Relationships between clinical characteristics and decreased plakoglobin and connexin 43 expressions in myocardial biopsies from patients with arrhythmogenic right ventricular cardiomyopathy.	Int Heart J 56(6): 626-631, 2015
244	Koga S	Department of Cardiovascular Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Diverse findings in calcified thrombus between histopathology and in vivo imaging including intravascular ultrasound, optical coherence tomography, and angiography.	Int Heart J 56(6): 661-663, 2015
245	Nishimura T	Department of Public Health, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Relationship Between Urinary Cross-Linked N- Telopeptide of Type-I Collagen and Heel Stiffness Index Measured by Quantitative Ultrasound in Middle-Aged and Elderly Men.	Medicine (Baltimore). 94(44):e1797, 2015
246	Nakagawa T	Department of Biochemistry, Nagasaki University School of Medicine	2015. Enhancer of Acetyltransferase Chameau (EACHm) Is a Novel Transcriptional Co-Activator.	PLoS One 10: e0142305
247	Urabe S	Department of Gastroenterology and Hepatology, Nagasaki University Hospital	Genetic Polymorphisms of IL-17F and TRAF3IP2 Could Be Predictive Factors of the Long-Term Effect of Infliximab against Crohn's Disease.	Biomed Res Int 2015, Article ID 416838, 12 pages, 2015
248	Inoue D	Department of Biochemistry, Nagasaki University School of Medicine	Dzip3 regulates developmental genes in mouse embryonic stem cells by reorganizing 3D chromatin conformation.	Scientific reports5:16567,2014
249	Hozumi A	Department of Orthopaedic Surgery, Nagasaki University	Total Hip Arthroplasty Using the S-ROM-A Prosthesis for Anatomically Difficult Asian Patients.	Biomed Res. Int 2015, 2015
250	Yoshida A	Department of Obstetrics and Gynaecology, Nagasaki University School of Medicine	Authors' reply re: Transverse uterine fundal incision for placenta praevia with accreta, involving the entire anterior uterine wall: a case series.	BJOG 122(13):1844-5,2015
251	Hasegawa H	Department of Laboratory Medicine, Nagasaki University Hospital	Osteopontin-integrin interaction as a novel molecular target for antibody-mediated immunotherapy in adult T-cell leukemia.	Retrovirology 24;12(1):99, 2015
252	Yasuda K	Department of Anatomy and Neurobiology, Nagasaki University School of Medicine	(2015) Mdm20 modulates action remodeling through the mTORC2 pathway via its effect on Rictor expression	PLoS One e0142943
253	Morofuji Y	Department of Neurosurgery, University of Nagasaki	Lipopolysaccharide-induced blood-brain barrier disruption: roles of cyclooxygenase, oxidative stress, neuroinflammation, and elements of the neurovascular unit.	J Neuroinflamm 12(1): 223, 2015

小計12

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

## (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
254	Miyaaki H	Department of Gastroenterology and Hepatology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Predictive value of the efficacy of tolvaptan in liver cirrhosis patients using free water clearance.	Biomed Rep 3(6): 884-886, 2015
255	Sakai Y	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Rapid production of engineered human primary hepatocyte/fibroblast sheets.	Data Brief 5: 498-501, 2015
256	Sasaki K	Department of Pharmacology and Therapeutic Innovation, Graduate School of Biomedical Sciences	NMDA receptor agonists reverse impaired psychomotor and cognitive functions associated with hippocampal Hbegf-deficiency in mice.	Molecular Brain 8: 83, 2015
257	Akahoshi E	Department of Public Health, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Association of maternal pre-pregnancy weight, weight gain during pregnancy, and smoking with small-for-gestational-age infants in Japan.	Early Hum Dev. 92:33-36, 2016
258	Kakoki K	Department of Urology, Nagasaki University, Graduate School of Biomedical Sciences	Pheochromocytoma multisystem crisis treated with emergency surgery: a case report and literature review.	BMC Res Notes 8(1):758, 2015
259	Sakamoto N	Second Department of Internal Medicine, Nagasaki University School of Medicine	Association of elevated $\alpha$ -defensin levels with interstitial pneumonia in patients with systemic sclerosis.	Respir Res. 10(16):148, 2015
260	Yamanashi H	Department of Clinical Medicine, Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University	The association between living alone and frailty in a rural Japanese population the Nagasaki Islands study.	J Prim Health Care 7(4): 269-273, 2015
261	Fuchigami T	Department of Hygienic Chemistry, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University	Characterisation of radiolabeled flavonoid derivatives for SPECT imaging of cerebral prion deposits.	Sci Rep(www.nature.com/srep)No.5:18440, 2015
262	Miyaaki H	Department of Gastroenterology and Hepatology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Impact of Donor and Recipient Single Nucleotide Polymorphisms in Living Liver Donor Transplantation for Hepatitis C.	Transplant Proc 47(10): 2916-2919, 2015
263	Shimokawa I	Department of Investigative Pathology, Nagasaki University School of Medicine	FoxO1 signaling plays a pivotal role in the cardiac telomere biology responses to calorie restriction. (2015)	Mol Cell Biochem., 412, 119-30
264	Hayashi H	Nagasaki University School of Medicine and Graduate School of Biomedical Science	Malignant transformation of breast ductal adenoma: a diagnostic pitfall.	Malays J Pathol, 2015 Dec;37(3):281-5
265	Takeshima F	Department of Gastroenterology and Hepatology, Nagasaki University Hospital	Clinical Characteristics of Patients with Gastroesophageal Reflux Disease Refractory to Proton Pump Inhibitors and the Effects of Switching to 20 mg Esomeprazole on Reflux Symptoms and	Med Sci Monit 21: 4111-4121, 2015
266	Asai M	Department of Dermatology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Parry-Romberg syndrome associated with contralateral cerebral atrophy.	Eur J Dermatol 25: 624-625, 2015
267	Sasaki H	Department of Hospital Pharmacy, Nagasaki University Hospital	Active topical therapy by "Furuta method" for effective pressure ulcer treatment: a retrospective	J Pharm Health Care Sci 1: 21-29, 2015
268	Ashizawa K	Department of Clinical Oncology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Natural History of Pulmonary Subsolid Nodules: A Prospective Multicenter Study	18th World Conference on Lung Cancer, S219 2015.9.10
269	Wang K	Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Comparison of the Outcomes of Hepatocellular Carcinoma After Hepatectomy Between Two Regional Medical Centers in China and Japan.	Liver Cancer 4(1): 175, 2015
270	Hara T	Department of Surgery, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences	Analysis of early reoperation following living donor liver transplantation.	The 2nd International Congress of Living Donor Liver Transplantation Study Group :111, 2015
271	Akazawa Y	Department of Gastroenterology and Hepatology, Nagasaki University Hospital	Helicobacter pylori VacA induces apoptosis by accumulation of connexin 43 in autophagic vesicles via a Rac1/ERK-dependent pathway.	Cell Death Discovery (http://www.nature.com/articles/cddiscovery201535), 2015

小計13

18

計

271

(注)1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。

3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 ヘルシンキ宣言その他研究等の領域に則した倫理に関する指針等の趣旨に沿った倫理的配慮を踏ることを目的とし、新規申請に係る手続き・臨床研究実施中及び終了時の手続き・臨床研究に係る利益相反審査に係る手続等について記載している。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 臨床研究利益相反審査委員会は「利益相反審査自己申告書」により、利益相反の管理を行う。申告書により利益相反が明らかな場合、利益相反審査委員会は、申告書に添付された研究計画書に照らし合わせて適正な臨床研究が実施可能かどうかについて審議し、当事者への助言・指導・勧告等を行う。なお、審議に際し、関係する各倫理委員会又は治験審査委員会の意見を聴取することができる。また、必要に応じて更なる情報収集・調査及びフォローアップも行う。（「長崎大学における臨床研究に係る利益相反管理指針」より）	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年5回
<p>・研修の主な内容</p> <p>以下の研修を、本院臨床研究センター主催で実施した。</p> <p>○平成27年度 臨床研究に関する研修会（4回）</p> <p>内容：人を対象とする医学系研究に関する倫理指針について、倫理委員会申請時の注意点、研究者の責務、モニタリングの方法など</p> <p>○平成27年度 臨床研究・治験推進セミナー（1回）</p> <p>内容：研究者に必要なGCPの知識について</p>	



(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

長崎大学病院の「最高水準の医療を提供するとともに、人間性ゆたかな優れた医療人を育成し、新しい医療の創造と発展に貢献する。」という基本理念のもと、医師としての人間性の涵養とプライマリ・ケアの基本診療能力の修得を達成する。

2 研修の実績

研修医の人数	81人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
大園 恵幸	内科	教授	39年	
阿比留 教生	内科	准教授	26年	
中村 英樹	内科	講師	24年	
白石 裕一	内科	講師	17年	
辻野 彰	内科	教授	27年	
西野 友哉	内科	教授	19年	
尾長谷 靖	内科	准教授	24年	
中尾 一彦	内科	教授	33年	
前村 浩二	内科	教授	30年	
宮崎 泰司	内科	教授	30年	
有吉 紅也	内科	教授	30年	
永安 武	外科	教授	29年	
山之内 孝彰	外科	講師	19年	
江口 晋	外科	教授	24年	



高槻 光寿	外科	講師	21年
田中 克己	外科	教授	32年
江石 清行	外科	教授	34年
小澤 寛樹	精神科	教授	31年
森内 浩幸	小児科	教授	32年
宇谷 厚志	皮膚科	教授	34年
酒井 英樹	泌尿器科	教授	33年
増崎 英明	産婦人科	教授	39年
北岡 隆	眼科	教授	33年
原 哲也	麻酔科	教授	24年
高橋 晴雄	耳鼻咽喉科	教授	39年
上谷 雅孝	放射線科	教授	35年
田崎 修	救急科	教授	26年
松尾 孝之	脳神経外科	教授	27年
尾崎 誠	整形外科	教授	25年
藤原 卓	歯科	教授	33年
吉田 教明	歯科	教授	30年
朝比奈 泉	歯科	教授	33年

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 看護部専門コース 外傷初期看護
・研修の期間・実施回数 平成27年8月1日～平成27年8月2日（全6回）
・研修の参加人数 延べ36名
・研修の主な内容 看護部専門コース 災害急性期看護
・研修の期間・実施回数 平成27年6月23日～平成27年10月27日（全5回）
・研修の参加人数 延べ10名
・研修の主な内容 看護部専門コース 治験と看護師の役割
・研修の期間・実施回数 平成27年6月18日～平成27年11月19日（全5回）
・研修の参加人数 延べ5名
・研修の主な内容 看護部専門コース 摂食・嚥下リハビリテーション
・研修の期間・実施回数 平成27年6月10日～平成27年9月9日（全6回）
・研修の参加人数 延べ60名
・研修の主な内容 看護部専門コース 緩和ケア
・研修の期間・実施回数 平成27年7月4日～平成27年7月11日（全9回）
・研修の参加人数 延べ184名
・研修の主な内容 看護部専門コース 腎不全看護
・研修の期間・実施回数 平成27年9月9日～平成28年1月13日（全5回）
・研修の参加人数 延べ29名
・研修の主な内容 看護部専門コース 放射線治療看護
・研修の期間・実施回数 平成27年6月10日～平成27年10月14日（全5回）
・研修の参加人数 延べ35名

<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容 看護部専門コース がん化学療法看護</li> <li>・研修の期間・実施回数 平成27年5月26日～平成27年11月17日（全6回）</li> <li>・研修の参加人数 延べ62名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容 看護部専門コース 感染管理</li> <li>・研修の期間・実施回数 平成27年6月12日～平成27年12月11日（全6回）</li> <li>・研修の参加人数 延べ104名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容 看護部専門コース 褥瘡対策</li> <li>・研修の期間・実施回数 平成27年6月26日～平成27年11月20日（全6回）</li> <li>・研修の参加人数 延べ101名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容 看護部専門コース 周手術期看護</li> <li>・研修の期間・実施回数 平成27年6月4日～平成27年11月5日（全6回）</li> <li>・研修の参加人数 延べ54名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容 看護部専門コース 急変対応シミュレーション</li> <li>・研修の期間・実施回数 平成27年6月26日～平成27年10月30日（全5回）</li> <li>・研修の参加人数 延べ50名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容 看護部専門コース シミュレータ教育指導者養成</li> <li>・研修の期間・実施回数 平成27年6月15日～平成27年12月14日（全7回）</li> <li>・研修の参加人数 延べ39名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容 看護部専門コース 退院支援</li> <li>・研修の期間・実施回数 平成27年7月8日～平成28年1月13日（全5回）</li> <li>・研修の参加人数 延べ84名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容 各種専門薬剤師に関する早期体験学習</li> <li>・研修の期間・実施回数 毎年9月～1月：計11回</li> <li>・研修の参加人数 15名（勤務2年目の薬剤師）</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容 フィジカルアセスメント講習会</li> <li>・研修の期間・実施回数 毎年5月～3月：計12回</li> <li>・研修の参加人数 24名（長崎県下薬局および病院勤務の薬剤師）</li> </ul>
<p>② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容 新採用研修プログラム</li> <li>・研修の期間・実施回数 16ヶ月（調剤業務48回，注射薬室業務30回，抗癌剤調製6回，麻薬業務2回）</li> <li>・研修の参加人数 10名（勤務1年目の薬剤師）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容 薬剤管理指導業務研修</li> <li>・研修の期間・実施回数 16か月、週1回</li> <li>・研修の参加人数 10名（勤務1年目の薬剤師）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容 休日TDM測定業務研修</li> <li>・研修の期間・実施回数 12か月間、計3回</li> <li>・研修の参加人数 3名（勤務2年目の薬剤師）</li> </ul>
<p>③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容 看護部専門コース 外傷初期看護</li> <li>・研修の期間・実施回数 平成27年8月1日～平成27年8月2日（全6回）</li> <li>・研修の参加人数 延べ69名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容 看護部専門コース 災害急性期看護</li> <li>・研修の期間・実施回数 平成27年6月23日～平成27年10月27日（全5回）</li> <li>・研修の参加人数 延べ104名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容 看護部専門コース 治験と看護師の役割</li> <li>・研修の期間・実施回数 平成27年6月18日～平成27年11月19日（全5回）</li> <li>・研修の参加人数 延べ5名</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容 看護部専門コース 摂食・嚥下リハビリテーション</li> <li>・研修の期間・実施回数 平成27年6月10日～平成27年9月9日（全6回）</li> <li>・研修の参加人数 延べ180名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容 看護部専門コース 緩和ケア</li> <li>・研修の期間・実施回数 平成27年7月4日～平成27年7月11日（全9回）</li> <li>・研修の参加人数 延べ169名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容 看護部専門コース 放射線治療看護</li> <li>・研修の期間・実施回数 平成27年6月10日～平成27年10月14日（全5回）</li> <li>・研修の参加人数 延べ35名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容 看護部専門コース 退院支援</li> <li>・研修の期間・実施回数 平成27年7月8日～平成27年1月13日（全5回）</li> <li>・研修の参加人数 延べ160名</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容 看護部専門コース がん化学療法看護</li> <li>・研修の期間・実施回数 平成27年5月26日～平成27年11月17日（全6回）</li> <li>・研修の参加人数 延べ164名</li> </ul>

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ② 現状
管理責任者氏名	病院長 増崎 英明
管理担当者氏名	放射線部長 上谷 雅孝 感染制御教育センター長 泉川 公一 総務課長 浜村 博 医療支援課長 吉田 義正 薬剤部長 佐々木 均 ME機器センター長 永安 武 医事課長 吉井 孝博

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	各診療科
		看護記録	各診療科
		検査所見記録	各診療科
		エックス線写真	放射線部
		紹介状	各診療科
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課、医事課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医療支援課
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療支援課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療支援課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療支援課
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療支援課

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御教育センター、医療支援課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御教育センター、医療支援課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御教育センター、医療支援課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御教育センター、医療支援課
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	ME機器センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器センター
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器センター
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器センター

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療支援課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療支援課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療支援課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医事課
		医療安全管理部門の設置状況	医療支援課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	計画書の提出あり 医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	計画書の提出あり 薬剤部
		監査委員会の設置状況	計画書の提出あり
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	計画書の提出あり
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療支援課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療支援課
		職員研修の実施状況	医療支援課
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	計画書の提出あり 医療支援課、薬剤部、ME機器センター		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。





(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	② 現状
閲覧責任者氏名	事務部長 鳥居 時政	
閲覧担当者氏名	総務課長 浜村 博	
閲覧の求めに応じる場所	総務課	
閲覧の手続の概要		
長崎大学広報戦略本部において、「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」に基づき、法人文書開示請求手続きを行っている。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 件
	歯科医師	延 件
	国	延 件
	地方公共団体	延 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第6)

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 無
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>○医療安全管理に関する基本的考え方</li><li>○医療事故防止委員会及びその他の組織に関する基本的事項</li><li>○医療安全管理のための職員研修に関する基本方針</li><li>○事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針</li><li>○医療事故発生時の対応に関する基本方針</li><li>○医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針</li><li>○患者等からの相談への対応に関する基本方針</li><li>○その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li></ul></li></ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 設置の有無 (有 無)</li><li>○医療事故防止委員会 (月1回開催)</li><li>○リスクマネージャー会議 (月1回開催)</li><li>・ 開催状況：年 24 回</li><li>・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>○院内インシデント・アクシデント報告等情報収集</li><li>○医療事故防止のための具体的対策等の検討及び推進</li><li>○医療事故防止のための教育及び研修等の決定</li><li>○インシデント・アクシデントレポートの分析の報告</li></ul></li></ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の主な内容：別紙のとおり</li></ul>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有 無)</li><li>・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>○医療事故防止対策マニュアルの改訂</li><li>○インシデントレポート報告システムの改良</li><li>○安全管理部部員等による院内巡視</li><li>○医療安全ポケットマニュアルの改訂</li><li>○安全管理部カンファレンス (週1回実施)</li></ul></li></ul>	

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 院内感染対策委員会の設置</li><li>2) 職員研修の実施</li><li>3) 病院感染発生時の対応</li><li>4) 院内感染対策マニュアルの策定</li><li>5) 院内感染防止に関する患者への情報提供と説明</li><li>6) その他の病院における院内感染対策の推進</li></ol> <p>以上について明記。</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>耐性菌の発生状況、手指衛生遵守状況、蓄尿率、公開 ICT ラウンド等の報告、承認を行う。 委員長：病院長、他委員数 10 名、計 11 名全員の出席をもって開催される。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 平成 27 年 7 月 21 日・第 1 回院内感染対策講習会 「アウトブレイクから見てきたものー やるときゃ、やらなきゃ、だめなのよ」 感染制御教育センター 泉川 公一 医師</li><li>② 平成 27 年 12 月 10 日・第 2 回院内感染対策講習会 「感染対策における清潔区域・不潔区域（ゾーニング）」 感染制御教育センター 塚本 美鈴 医師</li><li>③ 平成 28 年 1 月 8 日・第 3 回院内感染対策講習会 「多剤耐性アシネトバクターの施設内感染と対策の実際」 福岡大学医学部 腫瘍・血液・感染症内科 高田 徹 医師</li></ol> <p>その他、清掃、看護補助業務を行うものに対しては年に 1 回程度別途実習を行っている。</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	( 有 無 )
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>院内で検出された耐性菌、無菌検体からの微生物検出状況は毎朝の会議にて微生物検査室から報告がある。インフルエンザやノロウイルス、結核など伝染性疾患に関する塗抹情報や抗原検出状況はリアルタイムに報告がある。 以上のうち院内感染対策上重要な微生物が検出された場合はその都度検出された部署へ赴き、実際の感染対策を指導している。それらは記録として保存している。また、週に 1 回は病棟、外来、中央診療棟などを他職種からなる ICT チームでラウンドし、感染対策の現状の把握と on the job training を実践している。</p>	

(様式第6)

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 回
・ 研修の主な内容： 「薬物血中濃度モニタリングの注意点」（講師：薬剤部副薬剤部長） 実施日：平成27年7月21日、イントラネット動画研修、受講人員：_2070_ 人 (92.0 %)	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有・無) ・ 業務の主な内容： 1. 医薬品の採用・購入に関する事項 2. 医薬品の管理に関する事項（購入～薬剤部内の管理） 3. 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項 4. 患者に対する服薬指導に関する事項 5. 医薬品の安全使用に係る情報の取扱い 6. 病棟、中央診療部門、外来における医薬品の管理 7. 他施設（病院等、薬局等）との連携に関する事項 8. 輸血・血液管理担当部門と責任者の設置等 9. 薬剤投与のための機器使用 10. 放射性医薬品の管理 11. 臨床検査薬の管理 12. 造影剤の管理、使用 13. 院内製剤の取り扱いについて 14. 当該手順書の順守状況の確認  実施状況：年1回順守状況のチェックを各部署で行い、その内容を医薬品安全管理責任者がすべて確認している。問題があれば改善のための指導を行う。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 【収集方法】 未承認等の医薬品の使用情報について、未承認新規医薬品に関しては使用申出の担当部署である医薬品安全管理専門委員会では把握している。その他の未承認等の使用については、薬剤部において、薬剤交付時の鑑査や入院患者に対する病棟薬剤業務において把握したものを記録している。 医薬品の採用時には、添付文書他、IF、文献等を収集している。添付文書等の改訂については、各メーカーのMRから連絡、DSUなどの発信について確認を行い、最新の添付文書等を入手するようにしている。 【周知方法】 未承認新規医薬品に関しては担当部署である医薬品安全管理専門委員会より診療科長等会議において定期的に報告している。その他の未承認等に関しては、把握した件数を医療事故防止委員会へ報告している。 改訂された情報の全てを、薬剤部各部署へ文書で通知を行っている。また、病棟、診療科（診療科長、医局長）、中央診療部（部長、副部長等）に対しては、緊急安全性情報、DSU、医薬品医療機器等安全性情報、DI newsの情報発信を行っている。緊急安全性情報は、当該医薬品を使用している医師に電子カルテのコミュニケーション機能、口頭にて周知を図っている。 また、薬剤部イントラネットには、薬剤部より発信した医薬品の安全使用に関わる情報の記録を、全て確認できるように掲載している。院内医薬品情報検索システム（DICS）には改訂された添付文書の情報が更新されるまで、新しい添付文書のPDFファイルを掲載している。	

(様式第6)

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 12 回
・ 研修の主な内容： 有効性・安全性に関する事項、使用方法に関する事項、保守点検に関する事項、不具合が発生した場合の対応に関する事項、使用に関して特に法令上遵守すべき事項など	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無) ・ 保守点検の主な内容： メーカーが推奨する性能試験、電気的安全試験などを実施	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 日本医療機能評価機構やPMDAなどからの情報を収集し、RMニュースとして各リスクマネージャーへ周知している。機器の取扱説明書や添付文書を院内どこからでも閲覧可能としている。	

(様式第 6)

規則第 9 条の 23 第 1 項第 1 号から第 15 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全担当の副病院長は、すでに配置済みであり、医療安全管理部門の長を兼任し、医薬品安全管理責任者および医療機器安全管理責任者は、医療安全に関する委員会（医療事故防止委員会）の構成員であり、各委員会の報告を医療事故防止委員会において実施している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（5名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>薬剤部薬品情報室で行っている。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>未承認新規医薬品に関しては、医薬品安全管理責任者が委員長を務める医薬品安全管理専門委員会において、未承認新規医薬品等評価委員会の意見を参考に申出の受付と使用の可否等を決定する業務を担当している。</p> <p>その他の未承認等の医薬品の使用状況については薬剤部に使用状況の把握と必要に応じた提案等の業務を行わせている。</p> <p>・担当者の指名の有無 有・無</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 有・無</p> <p>・規程の主な内容：</p> <p>説明に関する責任者は、医療安全部門の GRM が担当し、説明に関するガイドラインを作成し、診療録管理を担当する委員会である病歴委員会の委員となり、診療録の質的管理を実施する段階で、説明と同意に関する監査項目を確認し、診療部門へフィードバックする。また説明・同意において、医師以外の職種の同席や説明記載についても、推進する。</p>	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・活動の主な内容：</p> <p>診療録及び退院時要約の記載内容について監査、法令に基づく診療録の管理、診療情報記録の提供</p>	

⑥ 医療安全管理部門の設置状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・所属職員：専従（４）名、専任（１）名、兼任（４）名</li> <li>  うち医師：専従（１）名、専任（ ）名、兼任（４）名</li> <li>  うち薬剤師：専従（ ）名、専任（１）名、兼任（ ）名</li> <li>  うち看護師：専従（２）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</li> <li>  うち事務職員専従１名</li> <li>・活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>○医療事故防止対策マニュアルの改訂</li> <li>○安全管理部部員等による院内巡視</li> <li>○インシデントレポートの分析</li> <li>○死亡事例の把握・検証</li> <li>○安全管理部カンファレンス（週１回実施）</li> </ul> </li> </ul> <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">計画書の提出あり</div>
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ (有)・無 ）</li> <li>・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有・無 ）</li> <li>・規程の主な内容： <p style="margin-left: 20px;">高難度新規医療技術の担当部門として、医療安全部門が兼任し、届け出先となる管理課とともに事例の収集とモニタリングを実施するとともに、医療安全部門において、別に組織した高難度新規医療技術評価委員会において検討された内容をもとに、新規技術の適否を決定し、医療事故防止委員会へ報告する。</p> </li> <li>・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有・無 ）</li> <li>・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ (有)・無 ）</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">計画書の提出あり</div>
⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ (有)・無 ）</li> <li>・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有・無 ）</li> <li>・規程の主な内容： <p style="margin-left: 20px;">未承認新規医薬品等に関する評価委員会はすでに作成済みであり、担当部門としては医薬品安全管理委員会が兼任し、評価委員会の判定を参考にして、使用の適否を決定し、医療事故防止委員会</p> </li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">計画書の提出あり</div>



において最終決定を行う体制となっている。

未承認新規医薬品等の適否を評価する委員会については、すでに構築済みであり、今後示される未承認新規医薬品等の指針を基本として、病院内の使用条件を決定する予定である。またすでに関係各部署と共同して、病院内の基準を作成するべく検討中である。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 ( 有・無 )
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (  有・無 )

⑨ 監査委員会の設置状況

有・ 無

・ 監査委員会の開催状況：年 回

計画書の提出あり

・ 活動の主な内容：

外部監査委員として、他大学の医療安全専門家、および長崎大学と関連の無い弁護士、および長崎大学と関連の無い医療職以外の方、3名の選定と内諾を得ており、監査委員会を年度内に設置する予定である。

- ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 ( 有  無 )
- ・ 委員名簿の公表の有無 ( 有  無 )
- ・ 委員の選定理由の公表の有無 ( 有  無 )
- ・ 公表の方法：

監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
3. その他

⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 296 件 (H27 年 10 月～H28 年 8 月迄)  
(H27 年度 154 件、H28 年度 8 月末まで 142 件)

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 37 件 (H27 年度)

・医療安全管理委員会の活動の主な内容

○医療事故防止対策マニュアルの改訂

○安全管理部部員等による院内巡視

○インシデントレポートの分析

○死亡事例の把握・検証

○安全管理部カンファレンス (週 1 回実施)

⑪ 他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院への立入り ( 有 (病院名： ) ・無)

計画書の提出あり

・他の特定機能病院からの立入り受入れ ( 有 (病院名： ) ・無)

・技術的助言の実施状況

⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

患者相談室を設置し、医療安全を含む患者からの相談を受け付ける体制を確保しているとともに、意見箱やホームページ等への意見や直接の相談事例へ対応するために 10 月 1 日付けで、あらたに組織を設立し、複数のチャンネルで患者相談に応じる体制を確立している。

⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況

・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (  有 ・  無 )

・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関しする必要な定めの有無 (  有 ・  無 )

・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (  有 ・  無 )

⑭ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

すでに2回の医療安全に関する講習を実施したが、今後特定機能病院としての要件のうち医療安全に関するものを9月に実施し、チーム医療に関するものを12月に実施予定である。

⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

計画書の提出あり

管理者、医療安全管理責任者、医療安全担当者、医薬品安全管理責任者については、すでに医療安全に関する講習を受講している。

また、医療機器安全管理責任者は、前医療安全管理責任者であり、講習の履歴がある。

ただし、マネジメント層向けの研修の要件が明確になり次第、改めて受講することとし、平成29年度中にすべて受講を終了する予定である。

平成27年度安全管理部研修会開催状況		安全管理部		H28.1.20現在	
研修内容	開催日	eラーニング	研修講師名(所属)	受講人員	
平成27年度 第一回医療安全研修会	平成27年5月19日 (DVD)				
1 ①「インフォームド・コンセントは誰のためにあるのか？」 ～医療者にとつてのインフォームド・コンセント	平成27年5月20日 平成27年5月28日 1021人	984人	①福崎博孝法律事務所 福崎博孝 先生	2005人	
平成27年度 第二回医療安全研修会	平成27年7月21日 (DVD)				
2 ①「薬物血中濃度モニタリングに関する注意点」 ②「インフォームド・コンセント」	平成27年7月28日 平成27年8月10日 848人	1222人	①薬剤部 副薬剤部長 北原 隆志 先生 ②安全管理部 副部長 栗原 慎太郎 先生	2070人	
平成27年度 第三回医療安全研修会	平成27年10月8日 (DVD)				
3 ①「医療事故調査制度について」	平成27年11月10日 平成27年11月25日 827人	1236人	①安全管理部 副部長 栗原 慎太郎 先生	2063人	
平成27年度 第四回医療安全研修会	平成27年12月10日 (DVD)				
①「チーム医療理論」	平成27年12月22日 平成27年12月25日 714人	1280人	①安全管理部 副部長 栗原 慎太郎 先生	1994人	
4	3410人	4722人		8132人	
			合計		

(様式第6)  
 規則第1条の11 第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置  
 ③医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況  
 【別紙2】

平成27年度 KYT研修会 出席状況

	部署別	7月10日	7月16日	8月31日	9月8日	9月15日	計
医師	研修医(医科)	7	10	9	8	10	44
	研修医(歯科)	8	6	8	6	5	33
中央診療部門	薬剤部	2	2	2	2	2	10
	臨床検査部門	1	1	1	0	0	3
	放射線部門	0	0	0	2	1	3
	臨床工学部門	1	1	1	0	0	3
	リハビリ部	1	1	0	1	1	4
	歯科衛生室	1	1	0	0	0	2
	言語療法士	0	0	0	0	0	0
	視能訓練士	0	0	0	0	1	1
	看護部	25	24	22	23	16	110
	計	46	46	43	42	36	213

リンクナース	8	7	7	7	6	35
--------	---	---	---	---	---	----

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期	
○日本医療機能評価機構 病院機能評価認定取得 (2003年3月17日~)	
○NPO法人卒後臨床研修評価機構 卒後臨床研修評価認定取得 (2014年3月1日~)	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要	
○ホームページ上に、病院の医療に関する情報を病院評価指標として54項目 (高度な医療の提供、難治性疾患の治療、看護師の養成、薬剤師の養成、コメディカルの養成、臨床試験、最後の砦、医療情報の提供、医師派遣) についてその実績を公開している。	
○ホームページ上に各診療科が行っている診療内容と実績について公開している。	
○患者向け病院広報誌「ポンペだより」において、「医療最前線」として各診療科における最新の医療について紹介している。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要	
各診療科、中央診療施設、看護部及び事務部からそれぞれ選出された者で組織する「診療実務部」を設置し、院内各部署間の円滑な連携を図っている。	

